

令和8年度 事業計画

一般財団法人 津山慈風会

目 次

令和8年度 一般財団法人津山慈風会 事業計画（概要）	1
中期経営計画 および 令和8年度事業計画 一般財団法人 津山慈風会	8
中期経営計画 および 令和8年度事業計画 津山中央病院	12
令和8年度事業計画 津山中央記念病院	28
令和8年度事業計画 津山中央看護専門学校	32
令和8年度事業計画 津山訪問看護ステーション	36
令和8年度事業計画 津山中央居宅支援事業所	40
令和8年度事業計画 アーバンライフ二階町	44
令和8年度事業計画 フィットネス&スパ CARVATA	48
令和8年度事業計画 法人本部	54

令和8年度 一般財団法人津山慈風会 事業計画【概要】

本年、津山慈風会は創立73年、津山中央病院は開設72年、国立療養所津山病院の経営移譲から29年という節目を迎えます。さて昨今の医療を取り巻く環境を鑑みますと、昨年、団塊の世代が後期高齢者となる2025年を迎え、大きな転換期となっています。岡山県北地域においては、全国を上回るスピードで高齢化が進行し、またコロナ禍を経て受療動向が大きく変化し、患者構成や疾病構造はこれまでにない速度で変化しています。これに加え、物価・エネルギー価格の高騰、生産労働人口の減少に伴う深刻なマンパワー不足、さらには「医師 働き方改革」への対応など、医療はかつてない厳しい環境にさらされています。「患者減」「コスト増大」「人手不足」という三つの障壁に直面するなか、令和8年度の診療報酬改定を皮切りに抜本的な制度改革が始まろうとしています。当財団は、この歴史的転換期を乗り越え、地域医療の最後の砦としての使命を全うすべく、医療の質の向上と安定した経営基盤の構築に取り組んで参ります。

最重点課題の二本柱の1つとして、まず『マンパワーの確保（離職防止）』を掲げました。医師の確保については、2024年度から施行された時間外労働規制に基づき、医師の健康と医療の質を両立させる「A水準」の堅持を目標に掲げております。看護師の確保については、地域の生産労働人口の減少に加え、学生の大学志向に伴う看護専門学校の志願者減少が深刻な懸念材料となっております。こうした状況を打破するため、私たちは「職員から選ばれる病院」をキープレースに掲げました。「働き方改革」を単なる制度対応に留めず、「魅力ある職場づくり」へと昇華させるため、業務改善による負担軽減や（DXの推進等）、当財団のブランドイメージ向上に注力いたします。（詳細は2ページを参照）。

二つ目の柱は『新規入院獲得』です。基本方針の1つ目にある「お断りしない救急」については、『新規入院獲得』のための重要な取り組みとなります。なかでも今年度は受入病床の確保を重点目標の1つに掲げました（2ページ）。医師、看護師などのマンパワーの確保や入退院のオペレーション機能の向上が課題となります。

基本方針の2つ目に掲げる「最先端医療の提供」も、当財団にとって新規入院獲得における大きな命題となります。再整備計画「POWER UP 5」で構築した陽子線治療施設、集中治療室、手術支援ロボット「ダヴィンチ」などを擁する高規格手術室について症例数の拡大に努めます。導入から7年経った手術支援ロボットの運用は安定しており、これまでに前立腺、腎臓、肺、消化器、婦人科に領域を広げております。

病床のオペレーション機能については、昨年8月に456床（工事前は515床）まで計画的なダウンサイジングを行い、さらに看護師不足のためこの2月より21床を休床したため、これまで以上に地域連携の推進と在院日数の短縮が重要な課題となっております。地域の医療ニーズに応えるため、病棟機能の向上と在院日数の適正化に津山中央病院グループ全職種をあげて対応します。

この他に地域ぐるみで医療を支えるための連携登録医とのアライアンス強化、回復期・介護・在宅分野の充実（主に二階町のグループ事業所）、健診事業および健康増進事業の拡充、医療インバウンドの拡充、臨床研修医や看護師（看護学校）などの医療従事者の育成、といった事業を展開してまいります。

竣工から20年が経過した津山中央病院本館の改修工事は、老朽化した設備の更新工事から始まり、周産期センターの拡張、8つの病棟の再編工事を行い、足掛け4年かけ竣工しました。また旧病理検査室を改修し、輸血検査室および遺伝子検査室を整備することができました。今年度は旧中央材料室の跡地利用の計画を進めることとなります。二階町の事業所の再編については、記念病院の増改築工事も完了し、残るは旧クリニックの建物解体と駐車場の整備となりました。今後は運用面でのますますの充実を図ってまいります。

今年度は中期3ヵ年計画の1年目として、事業を展開していくこととなります。より具体的な令和8年度の事業計画は以下の通りです。

中 長 期 ビ ジ ョ ン



日本に誇れる医療サービス空間の構築

今 年 度 重 点 目 標

テーマ		計画年度					
		R5	R6	R7	R8	R9	R10
I	<u>入退院管理</u>						
II	<u>収益アップを考える</u>						
III	<u>カイゼン</u>						
IV	グループ病院との連携強化						
V	魅力ある職場づくり						
VI	<u>病院ブランディング</u>						
VII	B C Pの整備						
※予	新入院獲得（紹介）						
	新入院獲得（救急）						
	レセプト対策						
	生成AIを知る						

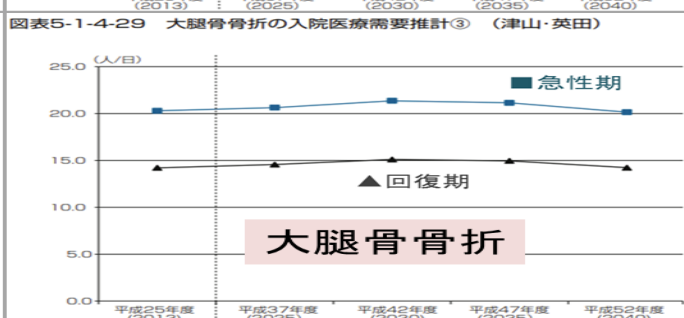
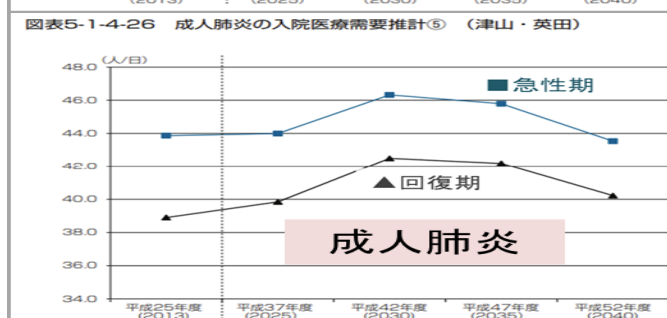
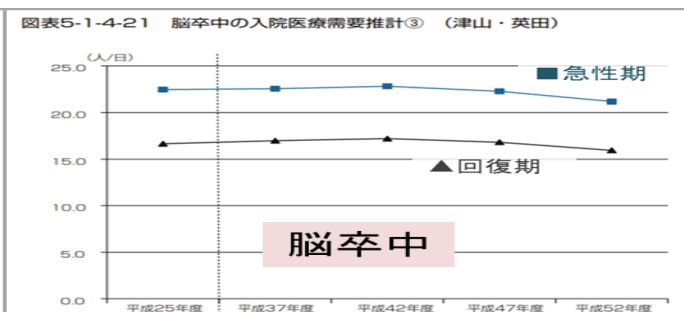
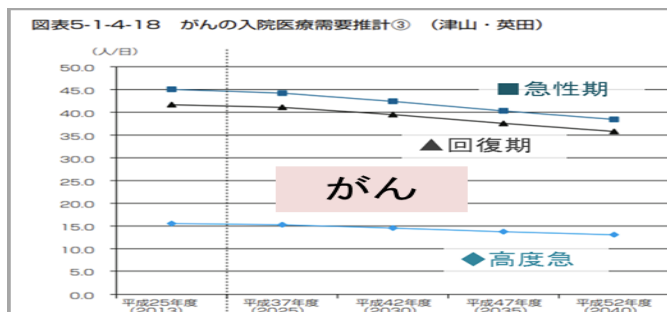
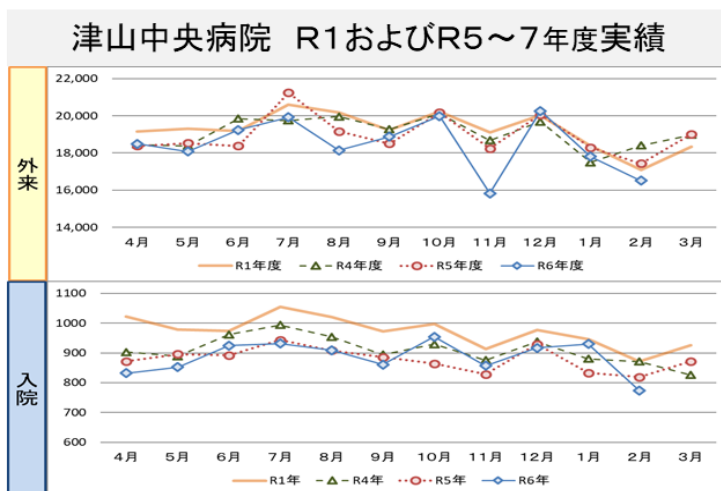
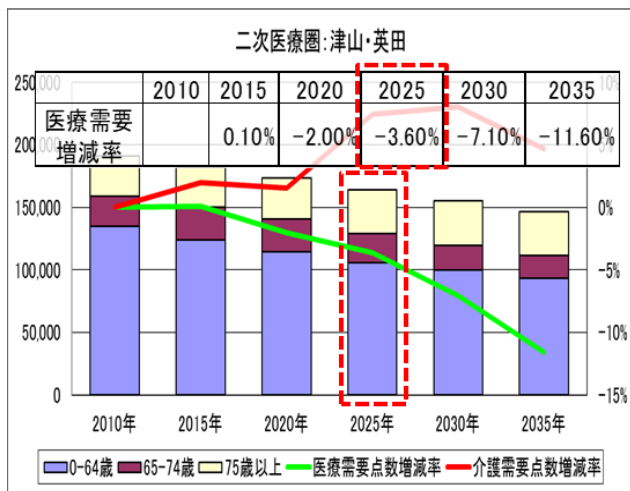
令和8度 各事業所の事業計画【概要】

1 津山中央病院	○「お断りしない救急」 「高度医療の提供」 のための機能充実	・救命救急センターの整備 ※スタッフ確保、ER Day 拡充、Dr. カー拡充、受入病床の確保など ・ゲノム連携病院の機能充実、がん拠点病院の要件クリアの継続など
	○がん陽子線治療 センターの機能拡充	・保険適用領域（前立腺がん等）および先進医療の領域について症例数増加 ※1 保険収載：小児がん、前立腺がん、頭頸部悪性腫瘍、骨軟部腫瘍、肝細胞癌、肝内胆管癌、局所進行肺癌、大腸癌術後局所再発、早期肺癌 ※2 2026年 新規保険収載：大腸癌術後局所再発
	○手術室の 効率的な運用	・令和元年に竣工した4つのOP室および2つの血管造影室の効率的な運用 ・手術支援ロボット「ダヴィンチ」の安定した運用および症例の適用拡大 ・ハイブリッドOR（経カテーテル的大動脈弁植え込み術など）の運用安定と症例数拡大
	○病棟の安定稼働	・許可病床数のダウンサイジング対応 ・休床21床の早期復活（看護師の確保） ・集中治療室の増床の検討 ・緩和ケア病棟14床の安定稼働 ・DPC入院期間Ⅱ以内の退院割合の向上（全体で70%を目指す）と転院促進 ・院内感染症対策（入院患者受入れ体制、院内感染防止体制、PCRなど検査体制、マスクなどの防護具確保など診療体制の維持）
	○地域連携の推進	・連携登録医、介護・在宅、津山中央病院グループ施設との連携
	○働き方改革および 働きやすい環境づくり	・「職員から選ばれる病院」づくり ・医師の長時間労働対策など働き方改革の推進（A水準の維持） ・看護業務のタスクシフト、タスクシェアの推進 ・業務の効率化の推進（DX※ICT・AI、業務改善）
	○診療報酬対策	・改定への対応：賃上・物価高騰の評価、入院基本料の見直し（急性期病院A、B、看護必要度など）、急性期総合体制加算、DX・データ連携など ・査定・請求漏れ対策
2 津山中央記念病院	○BCPの見直し	・災害対策からサイバーセキュリティまで
	○一般病棟の安定稼働	・施設基準10:1（急性期一般入院料5）の維持 ・在宅などからの新規入院患者の獲得
	○地域包括ケア病床の拡充	・在宅からの入院強化 ・介護保険施設入所者の受け入れの推進
	○療養病棟の安定稼働	・看護師、アシスタントⅡの確保 ・安定稼働を目指しさらなる充実を図る
	○透析センターの充実	・看護師ならびに臨床工学技士の人材確保を推進し、透析センターにおける慢性期医療体制の充実を図る
	○新型コロナウイルス対策	・透析患者受入れ体制の維持、院内感染防止体制
	○津山中央病院、津山中央まにわ病院との連携強化およびそのための機能向上	
	○介護・在宅との連携強化	・新規連携先の獲得
	○働き方改革および 働きやすい環境づくり	・医師の当直体制の見直し ・常勤医師の増員 ・看護師の確保と負担軽減のための対応推進 ・業務の効率化の推進

訪問看護 ステーション	3 津山中央	○機能の充実	・スタッフの充実とスキルアップ ・医療対応のスキルの高さを生かし、医療的ケア児、ターミナルケア、難病、人工呼吸器装着、在宅酸素、ストーマ管理の対応件数を増加、看護体制強化加算を維持、機能強化型訪問看護ステーション加算の維持
		○働き方改革	・看護師の確保と負担軽減のための対応推進 ・業務の効率化の推進 ・ハラスメント対策の推進
		○津山中央病院との連携強化	
		○地域の在宅医療・在宅介護との連携強化	
居宅介護 支援事業所	4 津山中央	○利用者数の維持	・質の高いケアマネジメントの実践
		○働き方改革	・業務の効率化の推進 ・ハラスメント撲滅を目指す
		○津山中央病院との連携強化およびそのための機能向上	
		○津山中央病院グループと地域の在宅医療・在宅介護との連携強化	
看護専門学校	5 津山中央	○地域医療の充実に貢献する優秀な看護師の育成	・変化する臨床現場に対応できる看護師の育成
		○優秀な志願者の確保	・地元の中・高校生とその保護者へ本校の強み発信 ・社会人や高校教員への情報発信の強化 ・在校生のいる出身校への積極的な発信、学校訪問（教員・在校生） ・学生を引き付けるホームページ・インスタグラムの刷新更新 ・総合型選抜入試の取り入れ
		○豊かな人間性を備え、主体的に行動できる学生の育成	
		○国家試験全員合格	
		○教員の定着とチーム力向上	・新規配属教員がチームの一員として有機的に活動できるようサポートする ・教職員の多忙化の軽減に取り組み、学生と向き合う時間を確保する ・例年通りではなく、新しいことへ挑戦する気持ちを持ち続ける
有料老人ホーム アーバンライフ二階町	6	○契約者の維持（アバンライフ 29 名）及び平均介護度 2.8 の達成	
		○利用者満足のために、利用者ファーストのサービス提供を目指す	
		○働き方改革	・業務の効率化のためオペレーションの見直しを図る ・ハラスメント撲滅を目指す
		○津山中央病院との連携強化およびそのための機能向上	
		○津山中央病院グループと地域の在宅医療・在宅介護との連携強化	
カルヴァータ フィットネス&スパ	7	○会員数増とサービスの充実に努め、健康増進に寄与する	・会員数増、クラブ収益の向上 ・パーソナル型プログラムサービスによる収益増
		○生産性向上と業務効率化の推進	・システム活用による業務の効率化の推進 ・スタッフ 1 名あたりの生産性測定と評価
		○津山中央病院との連携強化およびそのための機能向上	・医療連携型運動療法プログラムの立案、運用準備 ・医師との連携、連携システムの実現
		○地域の健康増進への寄与	・行政との連携による地域住民の介護型運動プログラムの提供及び実践

参考

【患者数、医療ニーズの分析】



【津山中央病院 再整備事業 POWER UP 5 (令和元年竣工)】



[illegible]

【津山中央病院グループ概要】

高度急性期



津山中央病院



がん陽子線治療センター

救命救急センター

人材育成



医療研修センター

看護専門学校

津山中央病院グループ





健康管理センター

フィットネス&スパ カルヴァータ

健診・健康増進



津山中央記念病院

R7.4統合

津山中央クリニック

急性期・地域包括ケア



訪問看護ステーション
居宅介護支援事業所

津山中央まにわ病院

老人保健施設・訪問看護・居宅介護

回復期



有料老人ホーム
アーバンライフ二階町

介護・在宅

【数字で見る津山中央病院グループ】

数字で見る津山中央病院グループ 2024年度

一般財団法人 津山慈風会 ・設立 昭和28年10月 ・事業所数 9事業所 ・職員数 1,253人R6.4.1時点 - 内 医師 135人 - 内 看護師 589人 - 内 薬剤師 30人	津山中央病院 ・病床数 498床 ・標榜診療科 30診療科 ・入院患者数 134,903人 ・外来患者数 227,414人 ・救急車数 5,225台 ・手術件数 4,729人 ・内視鏡件数 11,204件 ・地域医療支援病院 - 救命救急センター - 地域がん診療拠点病院 - 医師臨床研修指定病院 - D P C 特定病院群 津山中央健康管理センター ・受診者数 10,841人 フィットネス&スパ カルヴァータ ・契約者数 636人※R6年度末
津山中央記念病院 ・病床数 81床 ・標榜診療科 2診療科 ・入院患者数 21,584人/年 ・外来患者数 43,426人/年 ・透析患者数 21,254人/年	アーバンライフ二階町 ・居室数 29室※全室個室 ナイスデイ二階町 R7.3閉所 津山中央訪問看護ステーション ・年間訪問数 3,726件 ・看護体制強化加算 ・機能強化型訪問看護ステーション加算
R7.4統合 津山中央クリニック ・標榜診療科 3診療科 ・外来患者数 8,776人/年	津山中央看護専門学校 ・卒業者数 24人 ・国家試験合格率 96.0% 医療法人真庭慈風会 津山中央まにわ病院 ・病床数 55床 ・標榜診療科 14診療科 ・救急告示指定 ・併設 老健、訪問看護、居宅支援

中期経営計画および令和 8 年度事業計画 一般財団法人 津山慈風会

目 次

中期経営計画の策定について

理念

基本方針

基本方針に基づく中期経営計画骨子

令和8年度事業計画の策定について

一般財団法人津山慈風会は創立73周年、その中核を担う津山中央病院は開院72周年の節目を迎えました。私たちはこれまで、地域完結型医療の象徴として「津山中央病院再整備計画 POWER Up 5」を完遂し、がん陽子線治療センターや新病棟（N館）、手術センターの拡張など、地方都市にあっても大都市圏に引けを取らない高度医療体制を構築してまいりました。

さらに、令和4年度より進めてまいりました病床再編工事（515床から456床へ減床）が完了し、リニューアルした本館がいよいよ全面稼働の時を迎えます。

社会情勢や医療ニーズの変化が加速する令和の時代において、当財団は歩みを止めることはありません。岡山県北の拠点病院としての責務を果たしながら、財団の理念である「日本に誇れる医療サービス空間の構築」に向け、職員一丸となって精進してまいり所存です。

理事長

津山慈風会の経営理念

作成：平成13年 8月14日
改定：令和 6年 4月 1日（第3版）
直近見直：令和 8年 3月31日

理念

「私たち津山慈風会は地域の皆さんにやさしく寄り添います」

基本方針

1. 顧客の人権を尊重した、顧客第一主義の医療、保健、福祉を実践する
2. 先進機器、先進技術の情報を収集し、計画的な導入を進める
3. 職員倫理や技術、安全に対する教育・研修を継続的に行う
4. 地域医療、保健、福祉の連携システムを構築する
5. 地域高齢者福祉に貢献するために介護・福祉事業を展開する
6. 地域の健康づくりに貢献するための事業を展開する
7. 地域医療に貢献する人材を育成する ～職員に選ばれる病院作り～
8. 医療、保健、福祉を担う各施設の運営の適正化及び業務の効率化を図る
9. 法令・社会規範を遵守し、内部統制の充実を図る
10. 健全経営を維持するために経営管理、施設運営管理を強化する

基本方針に基づく中期経営計画骨子（令和 8～10 年）

1. 顧客の人権を尊重した、顧客第一主義の保健、医療、福祉を実践する
 - ①顧客の立場にたった医療、看護、介護を提供する 8～10 年
 - ②顧客の権利とプライバシーを遵守する 8～10 年
2. 先進機器、先進技術の情報を収集し、計画的な導入を進める
 - ①ハイブリッド手術室 適用の拡大 8～10 年
 - ②手術支援ロボット 前立腺がん手術の施設基準維持、その他の領域の適用拡大 8～10 年
 - ③放射線機器など大型モダリティの計画的な更新
3. 教育・研修を継続的に行う
 - ①職員倫理に対する教育・研修を継続的に行う 8～10 年
 - ②技術習得のための教育・研修を継続的に行う 8～10 年
 - ③医療安全、感染対策、医療倫理に対する教育・研修を継続的に行う 8～10 年
4. 地域医療、保健、福祉の連携システムを構築する
 - ①地域のネットワークを構築する 8～10 年
 - ②医療連携による地域完結のしくみを推進する 8～10 年
5. 地域高齢者福祉に貢献するために介護事業を展開する
 - ①在宅介護事業を推進する 8～10 年
 - ②介護事業の領域を拡大する 8～10 年
6. 地域の健康づくりに貢献するための事業を展開する
 - ①健診事業の充実を図る 8～10 年
 - ②健康増進施設の充実を図る 8～10 年
7. 地域医療に貢献する人材を育成する ～職員に選ばれる病院作り～
 - ①看護教育・卒後研修を充実し、外国人材を含む多様な人材の育成と地域定着を図る 8～10 年
 - ②医師臨床研修を充実する 8～10 年
 - ③地域医療従事者への教育環境を充実する 8～10 年
8. 医療、保健、福祉を担う各施設の運営の適正化を図る
 - ①地域基幹病院の機能を充実する 8～10 年
 - ②各施設に求められる機能を充実する 8～10 年
9. 法令・社会規範を遵守し、内部統制の充実を図る
 - ①法令遵守の監視体制を推進する 8～10 年
 - ②働き方改革を推進する 8～10 年
10. 健全経営を維持するために経営管理、施設運営管理を強化する
 - ①急性期医療におけるコスト管理を強化する 8～10 年
 - ②経営統計資料を整備し、分析・活用を図る 8～10 年
 - ③医療インバウンドを推進する 8～10 年
 - ④人材確保のための福利厚生、働きやすい環境を整備する 8～10 年

中期経営計画および令和8年度事業計画

津山中央病院

目 次

1. 理念、基本方針、行動規範、患者の権利と責任
2. 基本方針の具体的内容
3. 基本方針に基づく中期経営計画（令和8～9年度）
4. 令和8年度事業計画

1. 津山中央病院の理念、基本方針、行動規範

作 成：平成13年 8月14日
改 定：令和 6年 4月 1日（第4版）
直近見直：令和 8年 3月31日

理念

「私たち津山慈風会は地域の皆さんにやさしく寄り添います」

基本方針

- ・お断りしない救急診療に努める
- ・最先端の医療を提供する
- ・地域医療機関との連携を強化する
- ・地域に貢献する活動を推進する
- ・教育、人材育成に傾注する
～職員に選ばれる病院作り～
- ・持続可能で健全な経営に努める（SDGs）

行動規範

私たちは、患者の満足、地域の満足、職員の満足を追求します

1. 患者満足：患者の人権を尊重し、医療の質を高め納得と同意に基づく医療を提供します
2. 地域満足：地域医療支援病院として、密な連携を図り、地域医療・福祉に貢献します
3. 職員満足：高い志を持って医療現場に臨み、日々業務を見直し、リスク管理のできる医療のプロとして研鑽とチャレンジを惜しみません

患者の権利と責任

当院では患者を尊重し、患者と当院の信頼関係を深めよりよい治療を行うために次に掲げる患者の権利と責任を宣言します。

患者の権利

- ① 人格を尊重した良質で最適な医療・看護を継続して平等に受ける権利
- ② 担当医師から診断・治療・予後について納得できるまで十分な説明を受ける権利
- ③ 担当医師から治療に入る前に、治療方針等について十分理解したうえで同意、或いは選択するのに必要な情報を得る権利
- ④ 必要な情報を得た上で、治療方針を自ら決める権利
- ⑤ 治療に関するすべてのコミュニケーション、記録等の個人情報およびプライバシー情報が極秘扱いされる権利
- ⑥ 医療費の請求内容を確認したり、内容についての説明を受ける権利
- ⑦ セカンドオピニオンが保障される権利
- ⑧ 定められた手順に従って、自己の診療記録の開示を受ける権利

患者の責任

1. 昔かかった病気、入院や内服薬を含めて自身の健康状態について情報を提供する責任
2. 治療を継続して受けることが出来ないと考えたときには担当医に告げる責任
3. 保険に関する情報を提供する責任
4. 医療費を速やかに支払う責任
5. 病院が決めた規則・ルールを守る義務

基本方針の具体的内容

1. お断りしない救急診療に努める

- ・ 救急受診重症患者あるいは地域医療機関よりの紹介患者に対して、迅速かつ適正な入院管理体制の構築に努める。
- ・ 救命救急センターの役割を全うする。
- ・ 救急医療は地域住民への安心の提供と、信頼される地域医療連携の基盤をなすものとする。

2. 最先端の医療を提供する

- ・ 常に医療の質向上に努力する。
- ・ 各分野ごとに最先端の医療を提供できるよう、人材の確保と育成に努める。
- ・ 医療実績は、国内はもとより海外にも積極的に情報を発信し、評価していただく。
- ・ 医療の質向上のために必要とする適正な投資を継続的に行い、職員の意欲向上にも寄与する。

3. 地域医療機関との連携を強化する

- ・ 地域連携の必要性・重要性を職員一同共有する。
- ・ 「自己完結型」医療から、「地域完結型」医療の中心的存在として貢献する。
- ・ 地域医療支援病院を中心とする津山慈風会グループとしての自覚を持ち、地域の医療、福祉関係者と密に連携をとる。
- ・ 岡山県北地域の医療の質向上と患者さんのQOL向上のため円滑な医療連携を図る。

4. 地域に対する啓発活動を推進する

- ・ 地域へ保健、医療、福祉についての啓発活動を行う
- ・ 津山慈風会の事業への理解を深めていただき、信頼と親近感を持てる病院をめざした、種々の活動に取り組む

5. 教育、人材育成に傾注する ～職員に選ばれる病院作り～

- ・ 「人は城、人は石垣、人は堀」を踏まえ、病院、地域を支えるのは慈風会職員そのものであるとの認識を共有する。
- ・ 職員のキャリアアップのための研鑽や教育を積極的に行う。
- ・ 女性医師支援、子育て職員支援に積極的に取り組む。
- ・ 地域に貢献する看護師育成のため、津山中央看護専門学校の充実を図る。

6. 持続可能で健全な経営に努める（SDGs）

- ・ 営利を目的とするものではない。
- ・ 患者、地域あるいは職員育成のために 必要な投資を行うと同時に、健全な経営に努める。

基本方針を達成するために

- ・ 職員全員が参加する、発言する風土を作る。
当然、発言には責任を持つ。（参加する委員会、ワーキンググループなどでは必ず発言する）
- ・ 管理職は、よい慣習はよりよくし、悪い慣習は打破する勇気を持ち、臭いものにふたをしない努力を続ける。そして、その情報は管理職間で共有する。（「三人よれば文殊の知恵」）
- ・ 何か気づいたこと、こうすればよくなるぞという提案を歓迎する。
この提案は、もちろん具体的解決策を持たなければいけない。
（「津山慈風会伝書鳩」と名付ける。「林」宛て、優秀な提案は忘年会で表彰）

2. 基本方針に基づく中期経営計画（8～10年度）

事業		行動計画	
I お断りしない救急	救命救急センター 【重症患者、紹介患者の迅速かつ適正な入院管理体制の充実】	・ERの 体制拡充 ・ER Day の拡充 ・救急外来でのタスクシェア（救急救命士、事務、コメディカル） ・ドクターカー運用の拡充 ・集中治療ユニットの増床の検討（HCU 4床 or SICU 2床 or 一般病床） ・スタッフ確保（救急医確保、看護師、認定看護師、救命士など） ・応需率の改善（80%台→90%台） ・応需率 R5:82.3% R6:83.9% R7:84.9% ・救急車 R5:4,385 R6:5,225 R7:5,309 ※急性期病院A施設基準2000件/年	R~10年度 R~10年度 R~10年度 R~10年度 R~10年度 R~10年度 R~10年度
	小児救急拠点病院 周産期母子医療センター	・小児救急外来の体制維持 ・NICU機能（改築工事竣工R5年度）の充実 ・助産師外来の体制充実	R~10年度 R~10年度 R~10年度
	※災害拠点	※IV地域貢献に記載	
	※外来機能・病棟機能の充実	※II最先端医療に記載	
	がん拠点病院	・がん拠点病院としての体制を整える（手術、化学療法、放射線治療、がん登録、緩和ケア） ・ゲノム連携病院（※R5.9指定） ・ がんゲノムプロファイリング検査の拡充 ・R7〇件 ・相談窓口の体制充実（カウンセラー加算） ・R7〇件 ・ISO15189 認証※R7年度取得 の維持 ・がん登録の精度向上 ・ 化学療法センターの運用改善	R~10年度 R~10年度 R~10年度 R~10年度 R~10年度 R~10年度
	放射線治療センター	・陽子線治療 ・適用拡大と症例数増加 ・全体 R6:83件 R5:102件 R6:88件 R7:131件 ・前立腺 R5:63件 R6:43件 R7:59件 ・医療インバウンド ・症例数増加 ・R5:26件 R6:22件 R7:22件 ・JIH の指定維持（R8.10 指定更新予定） ・ 啓発活動（市民公開講座、紹介元への訪問） ・リニアック ・適用拡大と症例数増加 ・全体 R5:155件 R6:211件 R7:197件 ・定位照射 R5〇件 R6:30件 R7:24件	R~10年度 R~10年度 R~10年度 R~10年度 R~10年度 R~10年度
	手術センター	・適用拡大と症例数増加 ・全体 R5 : 4,684件 R6 : 4,729件 R7〇件 ・ハイブリッドOR ・SG R5:30件 R6:43件 R7:35件 ・TAVI R5:58件 R6:53件 R7:52件 ・WATCHMAN R6 開始：9件 R7:17件 ・ダヴィンチ ・全体 R5:126件 R6:158件 R7:172件 ・泌尿器 R5:81件 R6:64件 R7:66件 ・消化器 R5:45件 R6:85件 R7:80件 ※適用 前立腺、腎、呼吸器、胃、直腸、結腸、肝臓、膵臓、子宮、仙骨	R~10年度 R~10年度 R~10年度 R~10年度 R~10年度
II 最先端医療	血管治療 （心臓血管 CN・脳卒中 CN）	・外来手術推進（白内障、ポリペク、慢性硬膜下血腫、抜釘等） ・令和元年度に竣工した血管造影室（2部屋）についての効率的な運用 ・新規手技の安定運用 ・インペラ、FFRct、NOガス、Mics 手術 ※TAVI、Watchman は手術センターに記載	R~10年度 R~10年度 R~10年度
	リハビリテーションCN	・実施件数の増加 ・365 日リハ検討	R~10年度 R~10年度
	地域完結	・県南に流出している疾患の実績増加 ・DPC係数の向上、（R7.2 達成？ R8.10-R.9 取組）	R~10年度 R~10年度
	外来機能の充実	・専門外来の充実 ・常勤医師の確保（眼科、乳腺外科、皮膚科専門医など） ※連携登録医、グループ施設の連携促進→Ⅲ地域連携に記載	R~10年度 R~10年度
	病棟機能の充実	・DPC入院期間Ⅱ以内の退院割合の向上（70%を目指す） ・記念病院との連携（慢性硬膜下血腫、へパリン化入院、整形外科など） ・RRSの安定した運用 ・感染制御の体制維持（医療スタッフの手技、PPE確保、感染対策向上加算1） ・緩和ケア病棟14床※R5開設の安定稼働 ・許可病床のダウンサイジング後の運用安定化※R7 515床-456床 ※看護師の増員・育成 → ※V人材育成に記載	R~10年度 R~10年度 R~10年度 R~10年度 R~10年度 R~10年度 R~10年度
	チーム医療	・各チームの活動件数増加 ・各チームの体制充実 ※NST、認知ケア、緩和ケア、入退院支援、ICT・AST、輸血cn、助産師外来、PST、栄養指導、口腔ケア、メディエーター、心臓リハビリチーム→心リハ・心不全ケアチーム、精神科増員 ・特定行為看護師 ・認知症※R4年1名取得手順書作製・運用開始 ・周術期の資格取得 ・ 研修施設の認定取得 ・タスクシェア ・看護業務のタスクシェアを全職種で拡充する（採血 対応できる検査技師の拡充など）	R~10年度 R~10年度 R~10年度 R~10年度 R~10年度 R~10年度 R~10年度

事業		行動計画	
Ⅲ 地域 連携	地域医療支援病院	・連携登録医、グループ施設の連携促進 ・地域連携クリパス稼働件数増加（脳卒中、がん、大腿骨頸部骨折） ・地連バス会議、CCセミナーの開催 ・逆紹介率向上※2026改定 50%以上 R6:83件 R5:102件 R6:88件 R7:〇件	8～10年度 8～10年度 8～10年度
	※地域完結	※Ⅰ最先端医療に記載	8～10年度
	災害拠点	・体制整備と訓練実施 ・DMA T派遣体制の確保（R6.1 能登震災支援として物資提供を実施）	8～10年度 8～10年度
	へき地拠点	・へき地拠点病院、診療所への医師派遣および代診医派遣	8～10年度
Ⅳ 地域貢献	感染症	・第二種感染症指定病院（新型インフル・結核）としての患者受入れ ・地域の拠点としての体制確保（感染対策向上加算1）	8～10年度 8～10年度
	健診事業	・受入れ実績の増加 ・オプション検査、プレミアムドッグの件数増加	8～10年度 8～10年度
	医療インバウンド	・運用改善	8～10年度
		・陽子線治療実績の増加	8～10年度
		・陽子線以外の治療実績の増加（乾癬、糖尿病など） ・スーパードッグの件数増加	8～10年度 8～10年度
	第二種社会福祉事業	・減免、無料相談等	8～10年度
	Ⅴ 人材育成	職員確保 「職員に選ばれる病院」	・医師 内科、外科、麻酔科、心臓血管外科、ER、精神科など ・研修医 マッチング10割 ・看護師増員 離職率5%（R5 10.2%、R6 *%、R7 *%）※病床補充、看護師夜間配置加算の維持 ・A I、I Tなどによる業務の効率化 ・医療アシスタント増員 ※急性期看護補助加算の維持
※看護学校との連携協力		※看護学校に記載	
研修		・研修会（医療安全、感染対策、医療倫理、個人情報、ハラスメント対策など）の実施 ・実習受入れ（医師、看護師、コメディカル） ・インターンシップ、見学受入れ（小学生、中学生、大学生、社会人、各種団体）	8～10年度 8～10年度 8～10年度
働き方改革		・長時間労働対策 医師 ・A水準の維持 ・手術処置夜間休日加算の適応拡大（現在は脳外、外科） ・看護師 残業削減（勤務帯ごとの制服導入など）	8～10年度 8～10年度 8～10年度
		・I C T・A I ・D X技術の活用、生成A Iの活用	8～10年度
		診療報酬対策	・施設基準 ・重要基準の維持・新規・ランクUp （急性期病院A入院基本料、急性期総合体制加算など） ・DPC 特定病院群の継続 ※Ⅱ最先端医療に記載 ・標準病名登録の精度向上、体制の再整備
Ⅵ 健全な経営		コスト削減	・GE、バイオシミラー採用の検討 ・医薬品、医材のコスト削減の取り組み（薬事委員会、医材委員会、V H J 共同購入） ・物価高騰（食材、光熱費等）への対策 ・節約 ・支援金獲得
	新規入院患者獲得	・査定対策	8～10年度
		・人口減少、高齢化による疾病構成の変化への対応 → ※Ⅰお断りしない救急、Ⅲ地域連携 ・After コロナによる疾病構成の変化への対応 → ※Ⅰお断りしない救急、Ⅲ地域連携 ・適正な病床数の検討 → ※Ⅰお断りしない救急、Ⅱ最先端医療に記載	
		計画的な インフラ整備	
		・跡地利用の検討（旧病理検査室、旧腹部エコー室、旧中央材料室など） ・医療機器 ・R7 DSA 更新、自動散在分包機、X-TV（URO）更新 ・システム更新 ・サイバーテロ対策 ・外部データ連携、電子処方箋など ・R8 年度診療報酬改定への対応 ・eカルテ更新の検討（A I対応など）	5～7年度 5～7年度 5～7年度

3. 令和7年度事業計画

1. 事業および行動計画

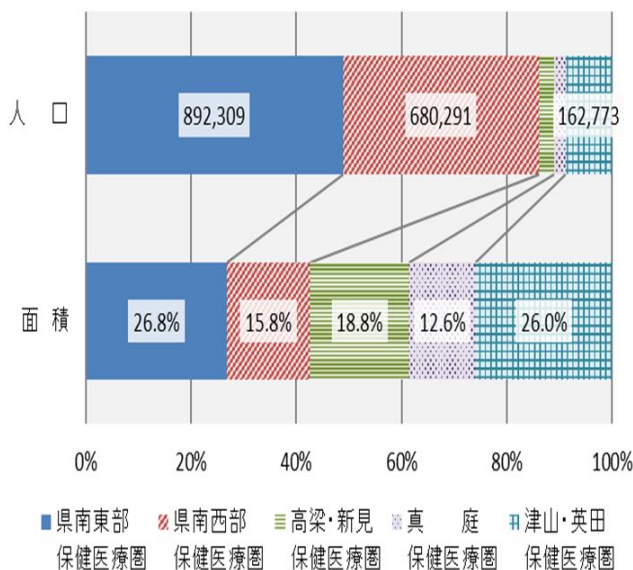
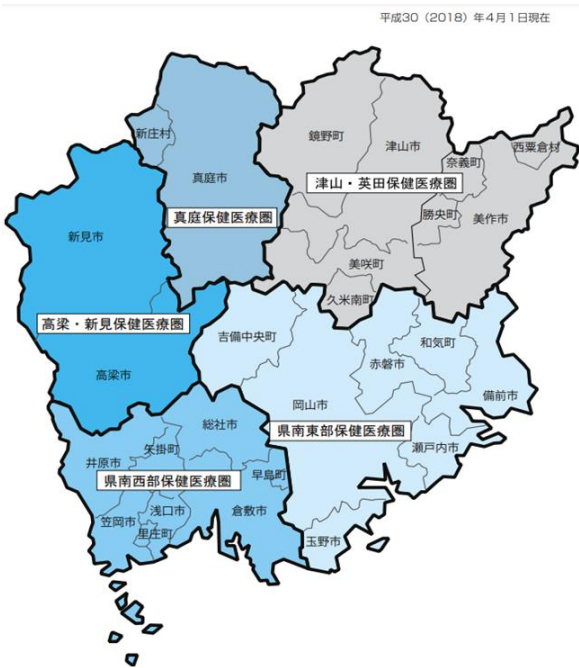
	事業	行動計画
Ⅰ お断りしない救急	救命救急センター	- 重症患者、紹介患者の迅速かつ適正な入院管理体制の充実 ※JIPD 入力体制 (R7.3 達成) - ER 構想の進捗 - ER Day の拡充 - 救急外来でのタスクシェア (救急救命士、事務、コメディカル) - ドクターカー運用の拡充 - 集中治療ユニットの増床の検討 (HCU 4床 or SICU 2床 or 一般病床) - スタッフ確保 (救急医確保、看護師、認定看護師、救命士など) - 応需率の改善 (80%台から 90%台に)
	小児救急拠点病院	小児救急外来の体制維持
	周産期母子医療センター	- NICU 機能の充実 (体制整備と改築工事竣工 R5.5→R5.7 運用開始) - 助産師外来の体制充実
	※災害拠点	※Ⅳ地域貢献に記載
	※外来機能・病棟機能の充実	※Ⅱ最先端医療に記載
	がん拠点病院	- がん拠点病院としての体制を整える (手術、化学療法、放射線治療、がん登録、緩和ケア) - ゲノム連携病院 - 機能充実 ISO15189 認証取得 ISO15189 認証取得 (R7.8 予定※5 月受審)、カウンセラー加算 - がん登録の精度向上
Ⅱ 最先端医療	放射線治療センター	- 陽子線治療 - 保険適用疾患および先進医療の適用疾患の症例数増加 - 医療インパウンドの症例数増加 - 定位照射 - IMRT (X線) 治療の適用症例の拡大
	手術センター	- 令和元年度に竣工した4つのOP室についての効率的な運用 - ハイブリッドORの安定した運用および適用拡大 (TAVI 専門施設取得※R6.1) - 手術支援ロボット「ダヴィンチ」の安定した運用および適用拡大 - 外来手術推進 (白内障、ポリペク、慢性硬膜下血腫、抜釘等)
	血管治療 (心臓血管 CN・脳卒中 CN)	- 令和元年度に竣工した血管造影室 (2部屋) についての効率的な運用 - 新規に導入した手技の安定した運用 (インペラ、FFRct、NOガス) - 新規手技の導入
	リハビリテーション CN	- 実施件数の増加 365 日リハ検討
	地域完結	- DPC 特定病院群の維持 - 県南に流出している疾患の実績増加
	外来機能の充実	- 専門外来の充実 - 常勤医師の確保 (眼科、乳腺外科、皮膚科専門医など) ※連携登録医、グループ施設の連携促進→※Ⅲ地域連携に記載
	病棟機能の充実	- DPC 入院期間Ⅱ以内の退院割合の向上 (70%を目指す) - 記念病院との連携 (ヘパリン化入院、整形外科など) - RRS の安定した運用 - 感染制御の体制維持 (医療スタッフの手技、PE 確保) - 緩和ケア病棟 14 床の開設※R5.5 達成 → 安定稼働 - 許可病床のダウンサイジング R8.3 竣工予定 ※看護師の増員・育成 → ※Ⅴ人材育成に記載
	チーム医療	- 各チームの活動件数増加 - 各チームの体制充実 - 特定行為看護師 - 認知症 手順書作製・運用開始 - 周術期の資格取得 - タスクシェア - 看護業務のタスクシェアを全職種で拡充する (採血 対応できる検査技師の拡充など)
	地域医療支援病院	- 連携登録医、グループ施設の連携促進 - 地域連携クリパス稼働件数増加 (脳卒中、がん、大腿骨頸部骨折) - 地連バス会議、CC セミナーの開催 (Web の活用)
	※地域完結	※Ⅰ最先端医療に記載
Ⅲ 地域連携		

	事業	行動計画
Ⅳ地域貢献	災害拠点	・体制整備と訓練実施 ・DMA T派遣体制の確保 (R6.1 能登震災支援として物資提供を実施)
	へき地拠点	・へき地拠点病院、診療所への医師派遣および代診医派遣
	感染症	・第二種感染症指定病院（新型インフル・結核）としての患者受入れ ・地域の拠点としての体制確保
	健診事業	・受入れ実績の増加 ・オプション検査、プレミアムドッグの件数増加
	医療インバウンド	・陽子線治療実績の増加 ・陽子線以外の治療実績の増加（乾癬、糖尿病など） ・スーパードッグの件数増加
	第二種社会福祉事業	・減免、無料相談等
Ⅴ人材育成	職員確保 「職員に選ばれる病院」	・医師 内科、外科、麻酔科、心臓血管外科、ER、精神科など ・研修医 マッチング10割 ・看護師増員 ・離職率5%※病床拡充、看護師夜間配置加算の維持 ・医療アシスタント増員 ※急性期看護補助加算の維持
	※看護学校との連携協力	※看護学校に記載
	研修	・研修会（医療安全、感染対策、医療倫理、個人情報、ハラスメント対策など）の実施 ・実習受入れ（医師、看護師、コメディカル） ・インターンシップ、見学受入れ（小学生、中学生、大学生、社会人、各種団体）
	働き方改革	・長時間労働対策 ・医師 ・A水準を目指す ・手術処置夜間休日加算の適応拡大（現在は脳外、外科） ・看護師 前残業削減 ・ICT・AI ・DX技術の活用、 生成AIの活用 (R5.4 LINE Works 導入、R5.6 AI 問診職員受診で使用徹底) ・
		・職員満足の上向
Ⅵ健全な経営	診療報酬対策	・施設基準 ・重要基準の維持・新規・ランクUp ・DPC 係数の向上 ・DPC 特定病院群の継続 ※Ⅱ最先端医療に記載 ・標準病名登録の精度向上、体制の再整備
	コスト削減	・GE、パイオシミラー採用の検討 ・医薬品、医材のコスト削減の取り組み（薬事委員会、医材委員会、VHJ共同購入） ・物価高騰（食材、光熱費等）への対策 ・節約 ・支援金獲得
	新規入院患者獲得	・人口減少、高齢化による疾病構成の変化への対応 → ※Ⅰお断りしない救急、Ⅲ地域連携 ・After コロナによる疾病構成の変化への対応 → ※Ⅰお断りしない救急、Ⅲ地域連携 ・適正な病床数の検討 → ※Ⅰお断りしない救急、Ⅱ最先端医療に記載
	計画的な インフラ整備	・3～6階病棟改修工事 (R7.6西、4東、5東、6東 予定) ・跡地利用の検討（旧病理検査室、旧腹部エコー室、旧中央材料室など） ・医療機器 ・ R7 DSA 更新、自動散在分包機、X-TV(URO) 更新
		・システム更新 ・サイバーテロ対策、PHR 対応、DX ・R6 年度診療報酬改定への対応

1. 年度目標

		目標	実績			
		令和8年度	令和7年度 ※統計base-4-2月実績	令和6年度	令和5年度	令和4年度
(1)	外来患者数	850 人/日	856.6 人/日	870.7 人/日	876.1 人/日	878.4 人/日
(2)	新規入院患者数 ※全病棟 新生児含まない	11,000 人 ※920 人/月	10,648 人 対前年 101.0%	10,542 人	10,916 人	10,593 人
(3)	延べ入院数 ※全病棟 新生児含まない	121,400 人 ※10,120 人/月	127,884 人 対前年 94.8%	134,903 人	134,616 人	134,283 人
※9月以降の傾向とR8.2の21床休床から考えて、直近は平在日短縮でR7年度と比べて10%減少						
※	日数	365 日/年	365 日/年	366 日/年	365 日/年	365 日/年
(4)	手術件数（手術センター）	4,800 件	4,728 件 対前年 100.0%	4,729 件	4,684 件	4,704 件
(5)	内視鏡件数（内視鏡c n）	12,000 件	11,706 件 対前年 104.5%	11,204 件	12,363 件	12,256 件
(6)	血管カテーテル治療・検査	1,500 件	1,390 件 対前年 88.2%	1,576 件	1,437 件	1,633 件
(7)	放射線治療	210 人	197 人 対前年 93.4%	211 人	155 人	199 人
(8)	陽子線治療	140 人	131 人 対前年 148.9%	88 人	102 人	84 人
(9)	救急車受入れ台数	5,300 台	5,309 台 対前年 101.6%	5,225 台	5,160 台	5,075 台
(10)	紹介割合 ※令和4年度計換式改定	85%	82.2%	79.3%	77.9%	76.8%
(11)	逆紹介割合 ※令和4年度計換式改定	55%	44.7%	47.0%	47.0%	46.9%
※初診料の減算要件 30%→50% (R8 診療報酬改定)						
(12)	平均在院日数 ※N4 東、N3 西除く	11.00 日	11.01 日	11.70 日	11.45 日	11.80 日
(13)	入院期間Ⅱ割合	70.0%	64.9%	62.8%	64.7%	64.2%
(14)	事業収益	16,939 百万円	16,885 百万円	16,998 百万円	16,975 百万円	16,171 百万円
(15)	人員の確保、充実 ・医師 ・看護師	・内科、外科、麻酔科、心臓血管外科、ERなど ・看護師 45 人補充 ※4 月 30 人見込み ・医療アシスタント 2 人補充 ※急性期看護補助加算の維持				
教育 研修	・医療安全	10 回	11 回	15 回	22 回	17 回
	・感染対策・AST	5 回	2 回	3 回	11 回	16 回
	・医療倫理	1 回	2 回	2 回	3 回	1 回
	・個人情報保護	1 回	2 回	1 回	1 回	1 回
	・ハラスメント対策	1 回	1 回	3 回	3 回	6 回

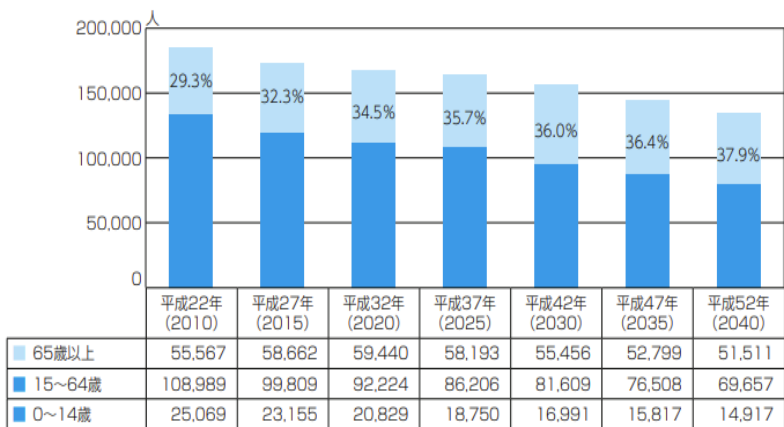
参考資料1 岡山県の人口分布（2025 年）



※出典 ①面積：岡山県保健医療計画 第3床 保健医療圏(2016時点)
②人口：岡山県毎月流動人口調査 市町村別人口(2025.2.1時点)

参考資料2 津山・英田医療圏の将来人口推計

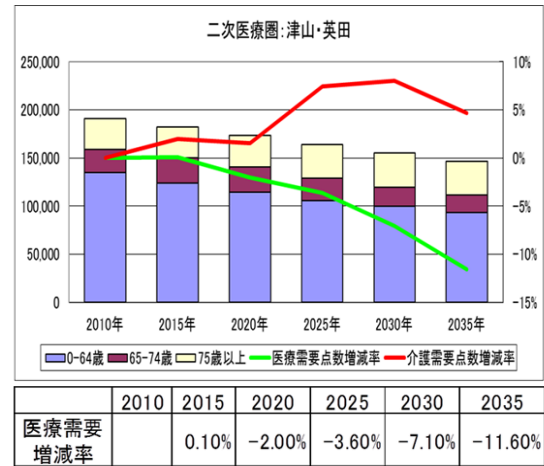
図表11-5-2-2 津山・英田圏域の将来人口の推計



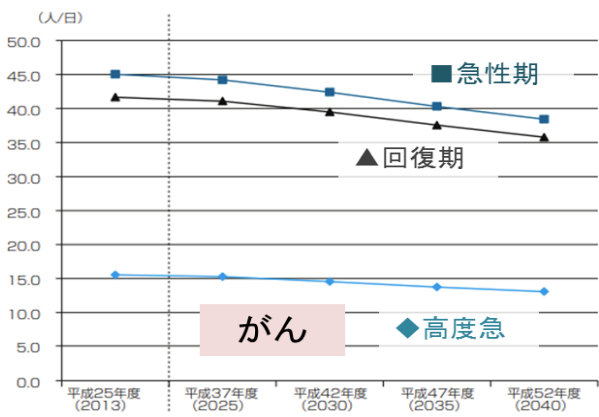
(資料：総務省統計局「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「都道府県別将来人口推計」(平成25(2013)年3月推計))

	保健医療圏				
	県南東部	県南西部	高梁・新見	真庭	津山・英田
H30年 ※4/1	92.1	70.6	6.2	4.6	18.0
R4年 ※1/1	91.0	69.4	5.5	4.3	17.1
R5年	90.5	68.9	5.4	4.2	16.9
R6年 ※2/1	89.8	68.5	5.2	4.1	16.6
R7年 ※6/1	89.0	67.8	5.0	3.9	16.1
R8年 ※2/1	88.7	67.5	4.9	3.9	16.0

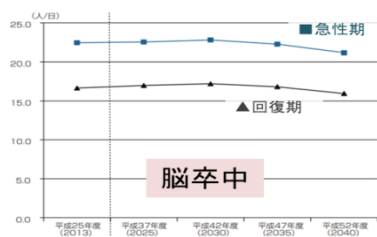
参考資料3 津山・英田医療圏の医療需要推計



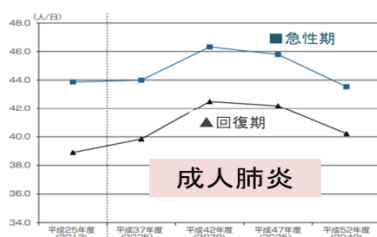
図表5-1-4-18 がんの入院医療需要推計③ (津山・英田)



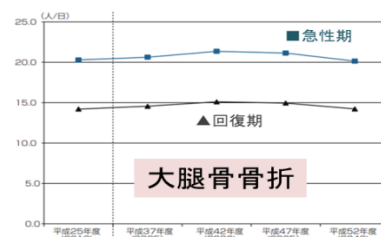
図表5-1-4-21 脳卒中の入院医療需要推計③（津山・英田）



図表5-1-4-26 成人肺炎の入院医療需要推計③（津山・英田）



図表5-1-4-29 大腿骨骨折の入院医療需要推計③（津山・英田）



参考資料4 津山・英田医療圏の医療需要推計（疾患別）

疾患分類	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
感染症及び寄生虫症	100%	101.21%	100.07%	103.22%	102.20%	98.81%	92.99%
新生物	100%	100.55%	98.45%	96.63%	93.82%	90.02%	85.52%
血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	100%	98.41%	96.00%	97.99%	96.46%	92.83%	86.88%
内分泌、栄養及び代謝疾患	100%	101.04%	99.83%	99.93%	97.18%	93.14%	88.36%
精神及び行動の障害	100%	97.83%	94.59%	90.60%	87.01%	82.88%	78.31%
神経系の疾患	100%	99.17%	97.04%	98.11%	95.99%	92.13%	86.39%
眼及び付属器の疾患	100%	101.36%	99.95%	100.49%	98.65%	95.08%	90.09%
耳及び乳様突起の疾患	100%	97.18%	95.62%	97.42%	94.93%	90.51%	84.42%
循環器系の疾患	100%	101.13%	100.02%	103.30%	102.42%	99.08%	93.15%
呼吸器系の疾患	100%	100.85%	99.60%	103.76%	103.22%	99.97%	93.74%
消化器系の疾患	100%	100.03%	97.91%	98.50%	96.66%	93.11%	87.74%
皮膚及び皮下組織の疾患	100%	100.87%	99.64%	103.24%	102.31%	98.91%	92.93%
筋骨格系及び結合組織の疾患	100%	100.93%	99.54%	101.24%	99.51%	95.91%	90.51%
腎尿路生殖器系の疾患	100%	100.64%	99.28%	100.94%	99.13%	95.44%	90.02%
妊娠、分娩及び産後	100%	88.84%	81.47%	77.55%	74.23%	69.62%	64.15%
周産期に発生した病態	100%	91.32%	80.67%	73.21%	68.78%	65.08%	60.93%
先天奇形、変形及び染色体異常	100%	93.00%	85.36%	78.94%	74.02%	69.62%	64.66%
損傷、中毒及びその他の外因の影響	100%	100.34%	98.83%	101.16%	99.91%	96.42%	90.55%
総数	100%	99.94%	98.00%	98.80%	96.92%	93.27%	87.83%

増減

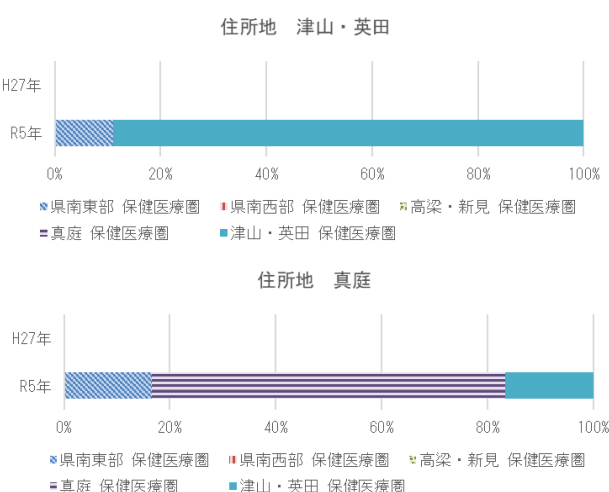
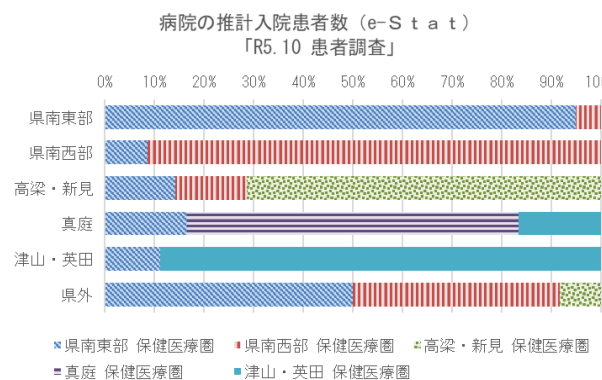
100%↑

95%↓

90%↓

80%↓

参考資料5 津山・英田医療圏の患者流出入（R5.10）※e-Stat『患者調査』より



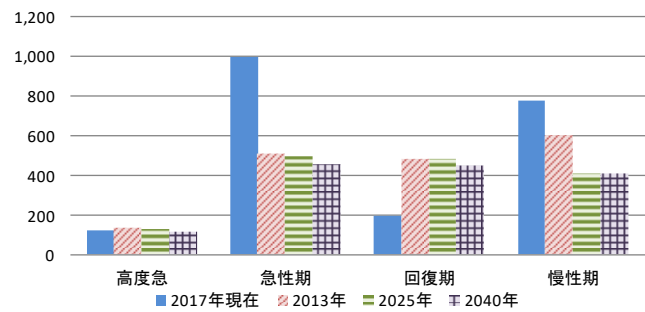
参考資料6 消防車

	R7	R6	R5	R4
津山圏域消防組合 出動件数	0,000	8,324	8,319	8,102
津山中央病院 受入件数	0,000	5,218	5,026	5,187

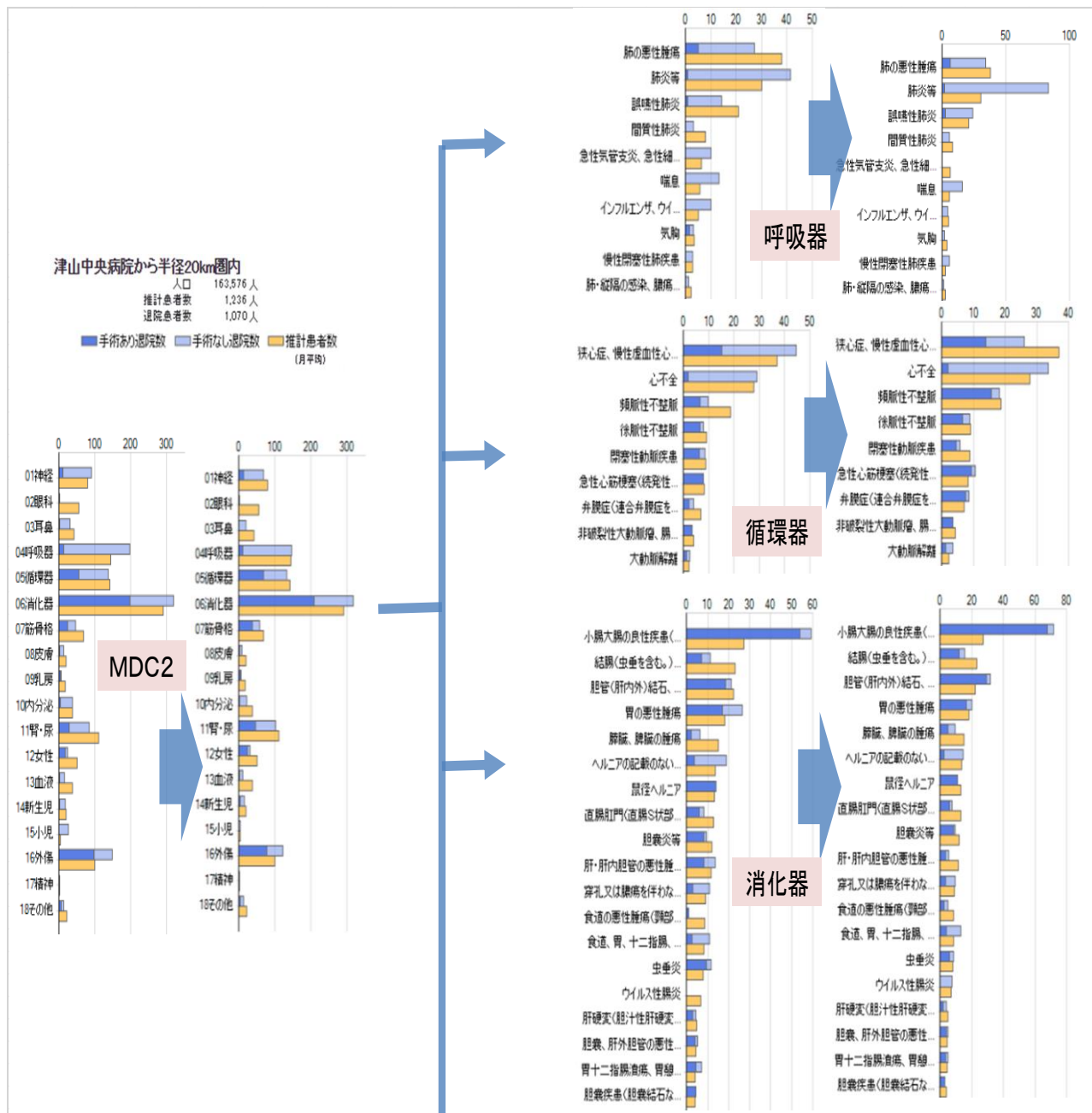
参考資料7 地域医療構想

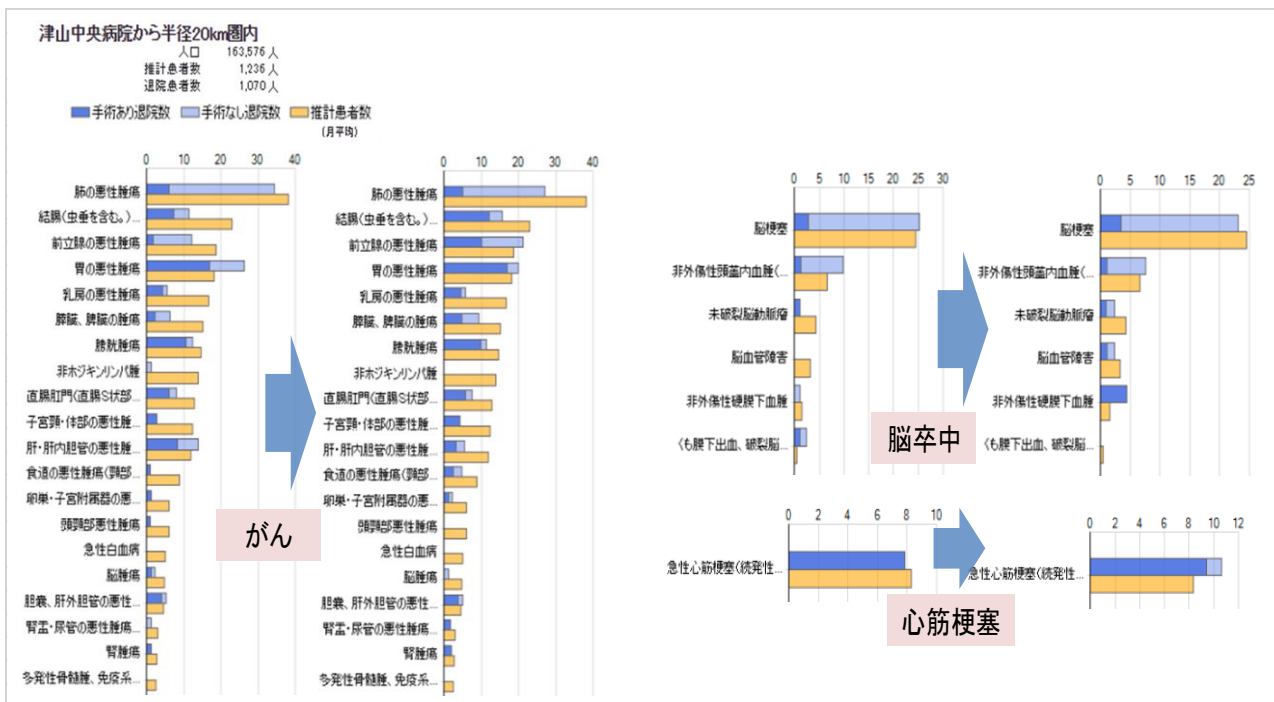
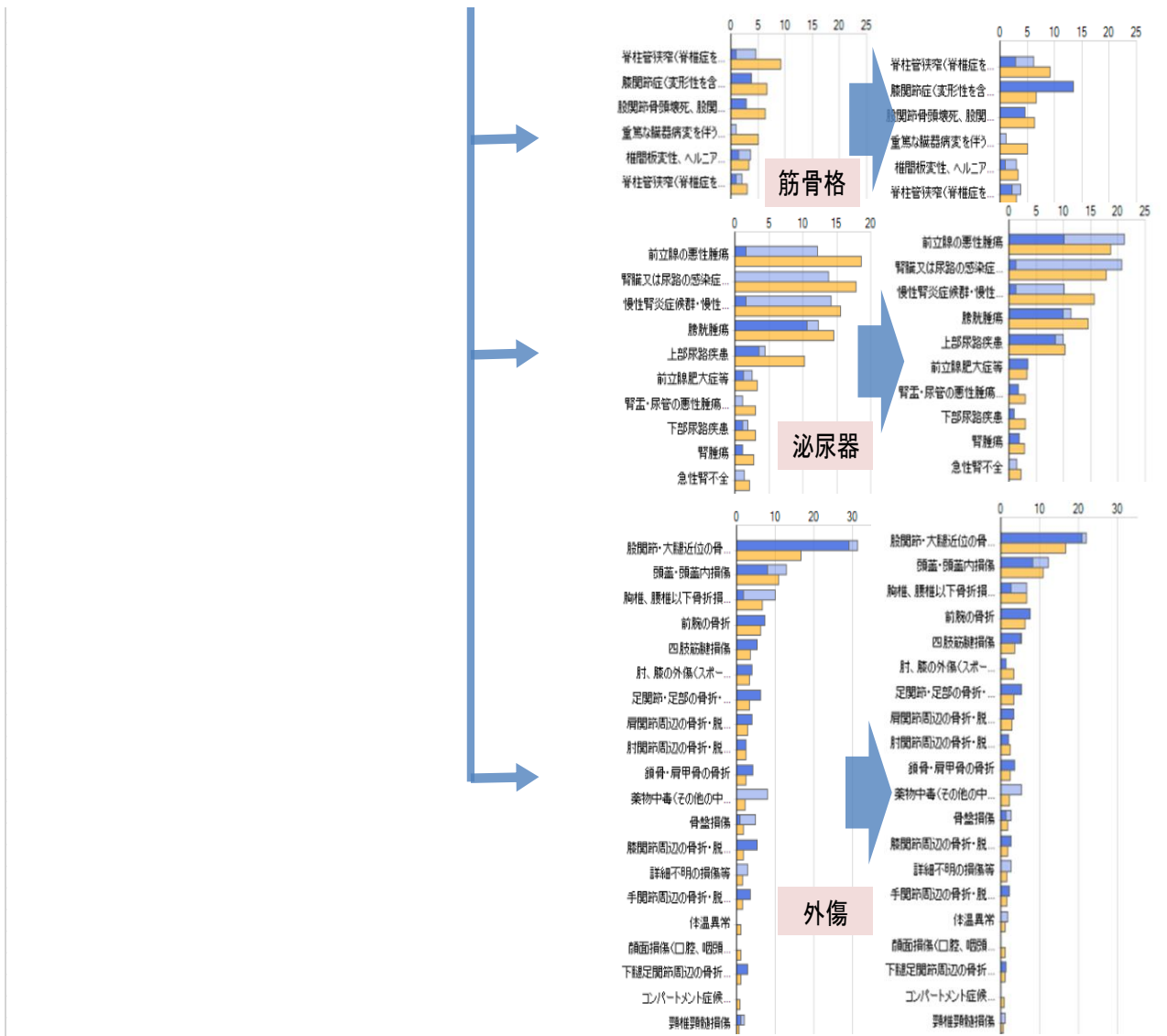
構想区域別許可病床数の現況と必要病床数推計の比較

津山・英田	2017年現在			必要数		
	病院	診療所	合計	2013年	2025年	2040年
高度急	125	0	125	137	132	118
急性期	877	119	996	514	501	460
回復期	187	11	198	487	483	452
慢性期	682	99	781	605	414	411
休棟・無回答		63	63			
	1,871	292	2,163	1,743	1,530	1,441



参考資料8 推計患者数（2015年／2023年）





参考資料 9-1 令和 8 年度の診療報酬改定（1 2 月 2 4 日 厚生労働省）

・全体 + 2.22%	・診療報酬本体 + 3.09% 26 年度 2.41% 27 年度 3.77%	※1 賃上げ分 +1.7% ※2 物価対応分 +0.76% ※3 食費・光熱水費分 +0.09% ※4 R6 年改定以降の経営環境の悪化への緊急対応分 +0.44% ※5 後発品置換、長期処方・リフィルなど ▲0.15% ※6 1～5 を除く改定分 +0.25
	・薬価 ▲0.86%	・材料価格 ▲0.01%

参考資料 9-2 令和 8 年度診療報酬改定の基本方針（概要）

改定に当たっての基本認識

- ▶物価・賃金の上昇、人口構造の変化や人口減少の中での人材確保、現役世代の負担の抑制努力
- ▶全ての地域・世代に適切な医療 / 医療従事者の持続可能な働き方【2040 年頃を見据て】
- ▶安心・安全で質の高い医療（医療の高度化や医療 DX、イノベーションの推進等）
- ▶社会保障制度の安定性・持続可能性の確保 / 経済・財政との調和

改定の基本的視点と具体的方向性

- (1) 物価や賃金、人手不足等の医療機関等を取りまく環境の変化への対応【重点課題】
 - 人件費、医療材料費、食材料費、光熱水費及び委託費等 **物価費の高騰対応**
 - 賃上げ、業務効率化・負担軽減**等の業務改善による医療従事者の人材確保
 - ・医療従事者の**処遇改善**
 - ・業務の効率化に資する ICT、AI、IoT 等の利活用の推進
 - ・**タスク・シェアリング/タスク・シフティング、チーム医療**の推進
 - ・**医師の働き方改革**の推進/**診療科偏在対策**
 - ・診療報酬上求める**基準の柔軟化**
- (2) 2040 年頃を見据えた医療機関の**機能の分化・連携**と地域における医療の確保、**地域包括ケアシステム**の推進
 - 患者の状態及び必要と考えられる医療機能に応じた入院医療の評価
 - 「治し、支える医療」の実現
 - ・在宅療養や介護保険施設入所者の**後方支援機能**（緊急入院等）の評価
 - ・円滑な入退院の実現
 - ・**リハ・栄養・口腔管理**等の高齢者の生活を支えるケアの推進
 - かかりつけ医機能、かかりつけ歯科医機能、かかりつけ薬剤師機能の評価
 - 外来医療の機能分化と連携
 - 質の高い在宅医療・訪問看護の確保
 - 人口・医療資源の少ない地域への支援
 - 医療従事者確保の制約が著す中で必要な医療機能を確保するための取組
 - 医師の地域偏在対策の推進
- (3) 安心・安全で質の高い医療の推進
 - 患者にとって安心・安全に医療を受けられるための体制の評価
 - アウトカムにも着目した評価の推進
 - 医療 DX や ICT 連携を活用する医療機関・薬局の体制の評価
 - 質の高いリハビリテーションの推進
 - 重点的な対応が求められる分野（救急、小児・周産期等）への適切な評価
 - 感染症対策や薬剤耐性対策の推進
 - 口腔疾患の重症化予防、口腔機能発達不全・機能低下への対応、歯科治療のデジタル化
 - 地域の医薬品供給拠点としての薬局に求められる機能に応じた適切な評価、薬局・薬剤師業務の対人業務の充実化
 - イノベーションの適切な評価や医薬品の安定供給の確保等
- (4) 効率化・適正化を通じた制度の安定性・持続可能性の向上
 - 後発医薬品・バイオ後続品**の使用促進
 - OTC 類似薬を含む薬剤自己負担の在り方の見直し
 - 費用対効果評価制度の活用
 - 市場実勢価格を踏まえた適正な評価
 - 電子処方箋**の活用や医師・病院薬剤師と薬局薬剤師の協働の医薬品の適正使用

主な改定項目

- 【人材確保・働き方改革等の推進】
- ・初再診料、入院基本料の引き上げ
 - ・物価対応料（新）
 - ・入院時食事療養引き上げ
 - ・ベースアップ評価料 段階的引き上げ
 - ・ICT 等の活用による配置基準を柔軟化（看護要員、医師事務補助者）
 - ・診療様式の簡素化、署名・記名押印の見直し
 - ・地域医療体制確保加算 2（新）
 - ・外科医師留特別加算（新）
 - ・処置手術の休日時間外加算 要件厳格化
 - ・専従要件の緩和（感対向、医対対、緩ケ加等）
 - ・常勤要件の緩和
- 【分化・連携、地域医療の確保】
- ・急性期病院一般入院基本料 A・B
 - ・看護必要度 見直し
 - ・急性期総合体制加算（新）
 - ・特定集中治療室管理料 要件厳格化
 - ・DPC の見直し（標準群 1・2 救急搬送数、在院日数縮短）
 - ・リハ・栄養・口腔連携加算 増点・対象拡大
 - ・医療提供機能連携確保加算
 - ・救急外来医学管理料
- 【安心・安全で質の高い医療の推進】
- ・CT 撮影 128 列以上（新）
 - ・内視鏡手術支援加算※200 例以上（新）
 - ・全身麻酔 麻酔管理体制に応じた評価見直し
 - ・遺伝性疾患療養指導管理料（新）
 - ・遺伝検査の対象拡大（難病）
 - ・心不全再入院予防継続管理料（新）
 - ・認知症ケア加算 増点・身体拘束の最小化
 - ・電子的診療情報連携体制整備加算（新）
 - ※DX 加算廃止、サブ・セッティン、電子請求、電子資格認証、電子処方箋、診療情報共有
 - ・オンライン診療
 - ・救急外来医学管理料 再編、要件厳格化
 - ・救急患者連携搬送料 再編
 - ・結核病棟入院基本料 増点
- 【効率化・適正化】
- ・病棟薬剤業務実施加算 新区分追加

参考資料 9-3 第 8 次医療計画【2024 年～2029 年】のトピックス

- 『5 疾病 5 事業』から『5 疾病 6 事業』へ ※『**新興感染症**等の感染拡大時における医療』が追加
- 外来機能分化 ※『**かかりつけ医機能を担う医療機関**』と『**紹介受診重点医療機関**』

参考資料 10 津山中央病院 職員数推移

	H31.4	R2.4	R3.4	R4.4	R5.4	R6.4	R7.4	R8.4
医師	100	97	104	114	107	108	109	<u>107</u>
歯科医師	2	2	2	1	2	2	2	<u>1</u>
研修医	21	18	14	18	18	15	17	<u>19</u>
看護師	468	460	468	476	486	473	462	<u>444</u>
助産師	12	15	14	15	16	15	10	<u>13</u>
保健師	16	16	17	16	14	12	11	<u>11</u>
准看護師	9	9	7	5	3	6	5	<u>6</u>
介護福祉士	9	9	11	13	13	13	13	<u>15</u>
医療アシスタントⅡ	59	65	57	56	53	54	49	<u>48</u>
救急救命士	-	-	3	6	8	8	8	<u>7</u>
薬剤師	27	27	26	27	28	29	28	<u>28</u>
臨床検査技師	27	29	29	30	32	34	36	<u>37</u>
診療放射線技師	35	37	37	37	37	37	36	<u>36</u>
医学物理士	1	0	0	0	1	1	1	<u>1</u>
理学療法士	33	31	32	31	32	33	30	<u>31</u>
作業療法士	15	12	14	15	16	16	15	<u>15</u>
言語聴覚士	3	3	1	1	2	2	2	<u>2</u>
視能訓練士	3	3	3	3	3	3	2	<u>3</u>
管理栄養士	12	12	12	12	14	14	13	<u>13</u>
栄養士	5	1	1	1	1	0	0	<u>0</u>
調理師・調理補助	26	22	22	22	23	23	21	<u>19</u>
臨床工学技士	17	15	15	15	15	15	14	<u>15</u>
歯科衛生士	6	5	6	6	6	5	6	<u>7</u>
歯科技工士	1	1	1	1	0	0	0	<u>0</u>
社会福祉士	8	7	6	4	4	6	6	<u>7</u>
公認心理士	1	1	1	1	1	2	2	<u>2</u>
保育士	3	3	3	4	4	5	4	<u>5</u>
診療情報管理士	24	24	25	26	24	24	24	<u>23</u>
事務職員等	53	55	59	66	69	69	69	<u>67</u>
合計	996	979	990	1,022	1,032	1,024	996	<u>982</u>

参考資料 11 津山中央病院 概要

●主な医療機器

・da Vinci（ダヴィンチ）	-----1 台
・ハイブリッドOR	-----1 台
・陽子線治療装置	-----1 台
・MRI（3テスラ）	-----1 台
・MRI（1.5テスラ）	-----2 台
・マルチスライスCT（16列）	-----1 台
・マルチスライスCT（64列）	-----3 台
・PET / CT	-----1 台
・血管撮影装置（バイプレーン）	-----2 台
・DSA（頭部、胸腹部用）	-----1 台
・リニアック（IMRT対応）	-----1 台
・デジタルマンモグラフィー	-----2 台
・ガンマカメラ（RI）	-----1 台
・一般撮影装置	-----4 台
・DRX線TV	-----2 台
・X線TV	-----3 台
・ESWL	-----1 台

●手術室

- ・11室（クラス1000バイオクリーンルーム1室含む）

●主なシステム

- ・Eカルテ（電子カルテ）
- ・オーダーリング（外来・入院）
- ・看護支援システム等
- ・電子カルテ・バイタル連携システム（ユカリアタッチ）

●付属施設

- ・ヘリポート
- ・備蓄倉庫
- ・第1、第2エネルギーセンター
- ・長期入院患者院内学級（小学生、中学生）
- ・津山慈風会記念ホール（154席）
- ・医師用マンション（25戸）
- ・看護師等独身宿舎（36戸）
- ・研修医等独身宿舎（54戸）
- ・院内保育園（認可保育所）

●病院規模

敷地面積 84,787.92㎡ / 延床面積 52,837.76㎡

●病床数 456床

一般病棟-----412床（SICU6床、NICU機能8床含む）
救命救急センター-----26床（ICU4床、HCU22床）
結核病棟-----10床
感染症病棟-----8床

●診療科目

内科、消化器内科、呼吸器内科、感染症内科、糖尿病内科、
神経内科、循環器内科、小児科、外科、消化器外科、呼吸器
外科、乳腺・内分泌外科、整形外科、脳神経外科、心臓血管外
科、形成外科、産婦人科、皮膚科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、眼
科、救急科、麻酔科、ペインクリニック内科、ペインクリニック外科、
放射線科、病理診断科、リハビリテーション科、緩和ケア内科、緩
和ケア外科、歯科、歯科口腔外科

●併設施設

- ・津山中央病院 救命救急センター
- ・津山中央健康管理センター
- ・津山中央看護専門学校
- ・医療研修センター
- ・フィットネス&スパ CARVATA
- ・岡山大学・津山中央病院共同運用がん陽子線治療センター

●関連施設

- ・津山中央記念病院
- ・津山中央訪問看護ステーション
- ・津山中央居宅介護支援事業所
- ・アーバンライフ二階町（有料老人ホーム）
- ・ナイスデニ二階町（小規模多機能型施設） [R7.3 閉鎖](#)

●第三者認証

- ・日本病院機能評価機構（認定5回目）
- ・医療被ばく低減施設
- ・ジャパンインターナショナルホスピタルズ（JIH）
- ・[ISO15189（初回R7.8 第〇回更新RO.〇）](#)

参考資料 12 地方都市の基幹病院における環境分析

1. PEST 分析（マクロな外部環境分析）

P 政治	○診療報酬改定: ・高度急性期、急性期機能への重点配分 ・働き方改革に伴う加算の影響 ○地域医療構想: ・「高度急性期」としての役割固定化 ・地域内での病床再編の影響 ○医師働き方改革: ・24 時間体制維持にかかるコスト増と人員確保の厳格	E 経済	○物価高騰: ・医療用資材（薬剤、医材）の高騰 ・大型機器の購入及び保守費用 ・電気代の増大による収益圧迫 ○賃金上昇: ・医療従事者の確保に向けた人件費の増加
S 社会	○少子高齢化: ・患者 ・高齢者の救急搬送増 ・周産期、小児医療などのニーズの集約 ・働き手 ・生産労働人口減少、若者の流出のため働き手が不足（特に看護師） ・診療科の医師偏在の集約化 ○患者ニーズの高度化: ・低侵襲・高度治療への期待（高額薬剤、ロボット手術、陽子線など）	T 技術	○DX の進展: ・電子カルテ共有、オンライン診療、AI 診断支援の普及 ○治療技術の革新: ・高額薬剤、ゲノム医療、ロボット手術、陽子線治療などの普及や適応拡大

2. SWOT 分析（内部・外部環境の統合分析）

S 強み	○高度な医療機能: ・救急、がん（陽子線）を主軸としたブランド力 ○集約された専門医: ・指導医クラスの人材層 ・研修医マッチングでの優位性 ○施設・設備: ・456 床という規模と、特定機能病院に近い最新設備	W 弱み	○高い固定費: ・施設、設備、高額機器の膨大な減価償却費 ○組織の硬直化: ・大規模ゆえの部門間連携の難しさや意思決定のスピード ○多忙な労働環境: ・救急応需率の維持によるスタッフの疲弊
O 機会	○診療報酬改定: ・急性期病院への手厚い対応 ・人件費高騰、人材不足へプラス改定と条件緩和 ・DX、人材配置緩和への対応 ○救急医療の拠点の充実: ・救命救急センター、広域化・効率化したドクターカー、拡充された ER Day など体制の充実 ・診療報酬での厚遇への流れ ○がん診療の拠点として機能: ・県下有数の治療実績を誇る内視鏡センター ・多くの診療科、専門医を有する集学的治療体制 ・陽子線治療を武器にした広域からの患者流入	T 脅威	○地域の病院の競合化: ・ふさわしい機能分化への以降途中での競争によるアンバランス ・人材の引き抜き（大学の派遣控えも含む） ○少子化加速: ・小児、周産期部門の稼働率低下リスク ○人件費バブル: ・医師・看護師派遣コストの増大

令和8年度事業計画

津 山 中 央 記 念 病 院

目 次

1. 理念、基本方針、行動規範
2. 令和8年度事業計画

1. 津山中央記念病院の理念、基本方針、行動規範

作成：平成13年 8月14日
改定：平成24年 1月12日（第2版）
直近見直：令和 8年 3月27日

理念

「私たち津山慈風会は地域の皆さんにやさしく寄り添います」

基本方針

- お断りしない救急診療に努める
- 最先端の医療を提供する
- 地域医療機関との連携を強化する
- 地域に貢献する活動を推進する
- 教育、人材育成に傾注する
- 健全な経営に努める

行動規範

私たちは、患者の満足、地域の満足、職員の満足を追求します

1. 患者満足：患者の人権を尊重し、医療の質を高め納得と同意に基づく医療を提供します
2. 地域満足：地域医療支援病院として、密な連携を図り、地域医療・福祉に貢献します
3. 職員満足：高い志を持って医療現場に臨み、日々業務を見直し、リスク管理のできる医療のプロとして研鑽とチャレンジを惜しみません

2. 令和8年度事業計画

1. 年度目標

	目標		実績			
	令和8年度	令和7年度※見込み	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度
(1) 外来患者数	174.0人/日	163.9人/日	138.7人/日	155.8人/日	155.0人/日	149.1人/日
(2) 入院患者数	61.0人/日	56.4人/日	59.1人/日	56.9人	57.4人	60.5人
(3) 事業収益	1,604百万円	1,533百万円	1,491百万円	1,523百万円	1,519百万円	1,582百万円

2. 事業および行動計画

基本方針／行動計画		具体化項目	成果物／目標
1. お断りしない救急診療に努める	①診療機能充実	津山中央病院で急性期を脱した患者を受け入れる	一般病床利用率 85% 療養病床利用率 80%
		自前入院増	20人以上/月確保
2. 最先端の医療を提供する	①糖尿病診療機能充実	質の向上	常勤の糖尿専門医の確保 研修会実施
	②透析センター機能向上	コメディカルの確保	看護師、MEの確保
	③リハビリ機能の充実	理学療法士、作業療法士の確保	理学療法士 2名確保 作業療法士 1名確保
3. 地域医療機関との連携を強化する	①地域連携機能強化	地域包括ケア病床の充実	運用の適正化
4. 地域に貢献する活動を推進する	①研修受入	中学生、高校生研修見学受入	受入施設を増やす
	②啓発活動	市民啓発実施	生活習慣病講座
	③第二種社会福祉事業	社会福祉事業継続	減免、無料相談等
5. 教育、人材育成に傾注する 計画的な教育・研修を行い、専門能力や職員倫理の向上を図る。	①各部門別レベル向上検討	医局	専門医の充実
		看護部	看護師の確保
		透析室	ME等スタッフの確保
		栄養課	栄養指導の充実
		リハビリテーション課	リハビリの充実
		事務部	接遇の向上
	②職員倫理教育実施	職員倫理教育継続実施	年 2 回以上
	③医学研究推進	学会出張奨励	発表奨励
		研修出張奨励	伝達研修実施
臨床研究奨励		医学雑誌発刊	
6. 健全な経営に努める	①病床稼働率の確保	1 病棟 利用率確保 適正な運用 地域包括ケア病床の充実	利用率 90% 施設基準維持 3 人以上/月自前入院患者の確保
		2 病棟 利用率確保 適正な運用 (施設基準維持)	利用率 80%
7. 患者の人権を尊重し、医療の質を高め納得と同意に基づく医療を提供する	①患者接遇レベルアップ	職員教育年間計画	年 3 回以上実施 成果の報告書提出
	②患者満足度調査実施	患者アンケートを実施する	年 2 回 結果分析と対策
8. 高い志を持って医療現場に臨み、日々業務を見直し、リスク管理のできる医療のプロとして研鑽とチャレンジをする	①目標管理制度導入	目標管理制度導入検討	目標管理制度
	②コンプライアンス（法令遵守）、危機管理体制強化	コンプライアンス教育監視強化	研修会開催、監視体制の強化
		危機管理体制強化	管理体制の強化
	③医療安全情報収集、対策機能を強化する	対策を全院周知徹底	転倒・転落のアクシデントを減数
		トラブル発生時の検証	検証会議事録
④医療安全風土向上	研修会を実施する	津山中央病院合同	

令和8年度事業計画

津 山 中 央 看 護 専 門 学 校

目 次

1. 理念・目的、教育目標
2. 今年度重点目標
3. 令和8年度事業計画

1. 津山中央看護専門学校の理念・目的、教育目標

作成：平成13年 8月14日
改訂：令和 3年 4月 1日（第2版）
直近見直し：令和 8年 3月27日

理念・目的

一般財団法人津山慈風会の理想とする仁愛の精神を養うと共に、人格の陶冶を目指し、幅広く教養を高め、高度な専門的知識及び技術を教授し、看護専門職として社会に貢献できる有能な人材を育成する

教育目標

- (1) 優しさ、思いやり、豊かな人間性をもち、倫理的配慮のもとに行動できる
- (2) 人間を統合された存在として、身体的・精神的・社会的に理解することができる
- (3) 自己理解・他者理解を通して人間関係を築くことができる
- (4) 看護実践に必要な基礎的知識・技術を習得することができる
- (5) 科学的思考により、自己の考えや行動を決定できる
- (6) 他の医療従事者と連携を取りながら、患者や家族へ適切な援助ができる
- (7) 地域に暮らす人々の健康生活に向けた支援を行うことができる
- (8) 社会情勢に関心をもち、看護と結びつけることができる
- (9) 向上心をもち、学び続ける力を身につけることができる

2. 今年度重点目標

- (1) 社会人や高校教員への情報発信を強化し、人物・学力ともに優秀な志願者の確保
- (2) 豊かな人間性を備え、主体的に行動できる学生の育成
- (3) ICT教育を推進し、臨床現場の先端機器に対応できる看護師の育成

3. 令和8年度事業計画

基本方針／行動計画／具体化項目	成果物／目標
1. <u>優秀な</u> 学生の確保	定員確保
2. 地元志願者を増加させる	県北出身の入学者を定員の5割以上確保 在校生の多い地域に重点を置いた募集活動の実施 志願者を引き付けるホームページ・ <u>Instagram</u> の充実 <u>総合型選抜入試の取り入れ</u>
3. 看護師国家試験の教育充実を図る	合格率100%
4. 津山慈風会施設への就職率を上げる	就職率8割以上
5. 教員の定着を図り、チーム力をUPする	新規に配属された教員が職場適応する 各教員が気持ちよく働ける
6. 専門能力や職員倫理の向上を図る	教育・研修の実施 職員倫理研修への参加
7. <u>中国人看護師の国家資格取得</u>	<u>R9年に日本の看護師国家試験の合格</u>

令和8年度事業計画

津山中央訪問看護ステーション

目 次

1. 理念、基本方針、行動規範
2. 今年度重点目標
3. 令和8年度事業計画

1. 津山中央訪問看護ステーションの理念、基本方針、行動規範

作 成 : 平成13年 8月14日
改 訂 : 令和 3年 4月 1日 (第2版)
直近見直 : 令和 8年 3月27日

理念

「利用者の特性を踏まえて、可能な限りその居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、その療養生活を支援し、心身の機能の維持回復を目指し、利用者の満足できる適切な訪問看護サービスを提供する」

基本方針

- ・利用者との信頼関係の構築に努める
- ・教育、人材育成に傾注する
- ・地域医療・保健・福祉機関との連携を強化する
- ・健全な経営に努める

行動規範

私たちは、利用者の満足、地域の満足、職員の満足を追求します

1. 利用者満足：利用者の人権を尊重し、看護・ケアマネジメントの質を高め納得と同意に基づく看護・ケアマネジメントを提供します
2. 地域満足：それぞれの特性を発揮して、密な連携を図り、地域医療・福祉に貢献します
3. 職員満足：高い志を持って現場に臨み、日々業務を見直し、リスク管理のできる看護・ケアマネジメントのプロとして研鑽とチャレンジを惜しみません

2. 今年度重点目標

1. 看護の質向上を目指す
2. 人材育成

3. 令和8年度事業計画

基本方針／行動計画／具体化項目	成果物／目標
1. 利用者の人権を尊重した利用者第一主義の看護を実践する。	自己評価システムの活用、利用者満足度調査を行い、看護の質の向上を図る
2. 接遇の改善を組織的、継続的に進める。(津山中央病院合同)	津山中央病院の研修に参加
3. 医療の質、医療スタッフを充実する。 (知識、技術の向上をはかる)	<u>スタッフの確保と離職防止</u> 法人内外の研修参加やOJTを行い育成する
4. 医療安全体制を強化する。(津山中央病院合同)	津山中央病院に準ず
5. 計画的な教育・研修を行い、専門能力や職員倫理の向上を図る	<u>法人内外の研修への参加や所内での委員会、勉強会を計画し実施する</u>
6. 自己啓発・研鑽制度を設け、自己の能力向上を支援する。	個別に研修計画を立て、実行する
7. 健全経営を維持するために経営管理を強化する。	<u>看護体制強化加算算定の維持、機能強化型加算算定の維持し単価アップを図る</u>
8. 医療機関、ケアマネージャー等との連携を深め、利用者増を目指す	<u>医療依存度の高い利用者、終末期の利用者、医療的ケア児を受け入れる</u>

令和8年度事業計画

津山中央居宅介護支援事業所

目 次

1. 理念、基本方針、行動規範
2. 今年度重点目標
3. 令和8年度事業計画

1. 津山中央居宅介護支援事業所の理念、基本方針、行動規範

作成 : 平成13年 8月14日
改定 : 平成24年 1月12日 (第2版)
直近見直 : 令和 8年 3月27日

理念

「事業所の介護支援専門員は、利用者が要介護状態にあっても、可能な限りその居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるように配慮し、利用者の選択に基づき、適切な保健医療サービス及び福祉サービスが、多様な事業者から、総合的かつ効率的に提供されるよう、公正中立な居宅介護支援を行う」

基本方針

- ・サービス依頼をお断りしない
- ・地域医療・保健・福祉機関との連携を強化する
- ・地域に貢献する活動を推進する
- ・教育、人材育成に傾注する
- ・健全な経営に努める

行動規範

私たちは、利用者の満足、地域の満足、職員の満足を追求します

1. 利用者満足：利用者の人権を尊重し、看護・ケアマネジメントの質を高め納得と同意に基づく看護・ケアマネジメントを提供します
2. 地域満足：それぞれの特性を発揮して、密な連携を図り、地域医療・福祉に貢献します
3. 職員満足：高い志を持って現場に臨み、日々業務を見直し、リスク管理のできる看護・ケアマネジメントのプロとして研鑽とチャレンジを惜しみません

2. 今年度重点目標

1. 利用者満足の追求
2. 働き方改革

3. 令和8年度事業計画

基本方針／行動計画／具体化項目	成果物／目標
1. 利用者の人権を尊重した利用者第一主義の支援を実践する。	津山中央病院の研修に参加
2. 接遇の改善を組織的、継続的に進める。(津山中央病院合同)	津山中央病院の研修に参加
3. 保健・福祉・医療サービス事業者との連携を強化する。	連携会議の実施
4. 計画的な教育・研修を行い、専門能力や職員倫理の向上を図る	研修会に参加
5. 自己啓発・研鑽制度を設け、自己の能力向上を支援する。	県協会主催の研修会に参加
6. 質の高いケアプランの作成を実施する。	<u>自己研鑽</u>

令和8年度事業計画

アーバンライフ二階町

目 次

1. 理念、行動規範
2. 今年度重点目標
3. 令和8年度事業計画

1. アーバンライフ二階町の理念、行動規範

作成 : 平成22年 5月 1日
改定 : 平成24年 1月12日 (第2版)
直近見直 : 令和 8年 3月27日

理念

「私たち津山慈風会は地域の皆さんにやさしく寄り添います」

行動規範

私たちは、利用者の満足、地域の満足、職員の満足を追求します

1. 利用者満足：利用者の人権を尊重し、介護の質を高め納得と同意に基づく介護を提供します
2. 地域満足：それぞれの特性を発揮して、密な連携を図り、地域介護・福祉に貢献します
3. 職員満足：高い志を持って現場に臨み、日々業務を見直し、リスク管理のできる介護のプロとして研鑽とチャレンジを惜しみません

2. 今年度重点目標

契約者数 25 名、平均実入居 25 名、平均介護度 2.8 の達成

3. 令和 8 年度事業計画

基本方針／行動計画／具体化項目	成果物／目標
1. 安定的な運営を実施する	常に周辺病院・居宅等に情報を発信し、待機案件の確保を図る ご入居者の状態に気を配り入院期間等不在期間を短縮する
2. 利用者満足：利用者の人権を尊重し、介護の質を高め納得と同意に基づく介護を提供します	スタッフの質的向上のため、研修の実施、全体会議での意識統一を図る 接遇研修・虐待防止研修・感染予防研修・ <u>認知症介護研修</u> の実施 各種委員会による改善提案、 <u>レクリエーションの充実</u>
3. 地域満足：それぞれの特性を発揮して、密な連携を図り、地域介護・福祉に貢献します	他施設・地域との連携を図り、地域に根ざした施設として貢献する コロナ禍にあっても可能な限り近隣と連携を図る
4. 高い志を持って現場に臨み、日々業務を見直し、リスク管理のできる介護のプロとして研鑽とチャレンジを惜しみません	自己目標作成および面談の実施 利用者の変化に合わせた業務改善 ケアマネを中心としたリスク管理 徹底した感染予防自己管理 ケア実施時の感染予防の徹底

令和8年度事業計画

フィットネス&スパ

CARVATA（カルヴァータ）

目 次

1. 理念、基本方針、行動規範
2. 今年度重点目標
3. 令和8年度事業計画

1. フィットネス&スパ CARVATA（カルヴァータ）

の理念、基本方針、行動規範

作成：平成26年 4月 1日

改定：令和 4年 4月 1日（第2版）

直近見直し：令和 8年 3月27日

理念

一人ひとりの健康で健やかな生活への貢献

基本方針

- ・地域に貢献する活動を推進する
- ・教育、人材育成に傾注する
- ・健全な経営に努める

行動規範

私たちは、利用者の満足、地域の満足、職員の満足を追求します

1. 利用者満足：利用者の人権を尊重し、提供する技術の質を高め納得と同意に基づく健康増進、疾病予防プログラムを提供します
2. 地域満足：地域の健康増進に寄与します
3. 職員満足：高い志を持って現場に臨み、日々業務を見直し、リスク管理のできるプロとして研鑽とチャレンジを惜しみません

2. 今年度重点目標

1. 会員数増
2. 疾病予防プログラム・サービスの提供
3. 新会員区分の運用開始

3. 令和8年度事業計画

1. 年度目標

		目標	実績			
		<u>令和8年度</u>	<u>令和7年度※見込</u>	<u>令和6年度</u>	令和5年度	令和4年度
(1)	会員数	<u>750 人</u>	<u>726 人</u>	<u>639 人</u>	554 人	520 人
(2)	入会者数	<u>260 人</u>	<u>245 人</u>	<u>222 人</u>	151 人	150 人
(3)	退会者数	<u>142 人</u>	<u>133 人</u>	<u>134 人</u>	120 人	120 人
(4)	退会率	<u>1.9%</u>	<u>1.8%</u>	<u>2.1%</u>	1.8%	2.0%
(5)	事業収益	<u>78,800 千円</u>	<u>75,900 千円</u>	<u>63,300 千円</u>	56,100 千円	52,700 千円

2. 事業および行動計画

基本方針／行動計画		具体化項目	成果物／目標																																																								
1. クラブ収益の向上	① <u>会員獲得及び動向</u>	<u>紹介入会強化（通年）</u> <u>紹介特典告知</u> <u>館内掲示、HP、SNS発信</u>	<u>紹介入会者</u> <u>全入会者 20% 40 人/年間</u>																																																								
		<u>HP、FB、インスタ、LINE からの入会特典（入会金無料）</u>	<u>全入会者 20% 20 人/年間</u>																																																								
		入会促進キャンペーン 実施期間） 年 2 回実施（春、秋） 春：4 月、5 月 秋：9 月、10 月 入会特典） 入会金無料 内容） ・ <u>イベント&セミナー</u> ・ <u>プログラム体験&体験教室</u>	入会者 期間中入会者数 100 名 春：60 名 秋：40 名 イベント一般参加者転嫁率 50% 評価項目 ・イベント参加者数 ・プログラム参加者数 ・クラブ期間体験者数																																																								
	②顧客満足の促進	顧客満足向上イベントの開催 ・4 月～5 月キャンペーンイベント ・9 月～10 月キャンペーンイベント ・12 月 クリスマスイベント 1 月～2 月 体験&測定イベント																																																									
	<table><tr><td></td><td>4 月</td><td>5 月</td><td>6 月</td><td>7 月</td><td>8 月</td><td>9 月</td></tr><tr><td>入会者</td><td><u>20</u></td><td><u>12</u></td><td><u>15</u></td><td><u>15</u></td><td><u>10</u></td><td><u>12</u></td></tr><tr><td>退会者</td><td><u>15</u></td><td><u>10</u></td><td><u>10</u></td><td><u>11</u></td><td><u>10</u></td><td><u>8</u></td></tr><tr><td>在籍者</td><td><u>731</u></td><td><u>733</u></td><td><u>738</u></td><td><u>742</u></td><td><u>742</u></td><td><u>746</u></td></tr></table> <table><tr><td></td><td>10 月</td><td>11 月</td><td>12 月</td><td>1 月</td><td>2 月</td><td>3 月</td></tr><tr><td>入会者</td><td><u>10</u></td><td><u>8</u></td><td><u>12</u></td><td><u>10</u></td><td><u>18</u></td><td><u>10</u></td></tr><tr><td>退会者</td><td><u>10</u></td><td><u>8</u></td><td><u>15</u></td><td><u>15</u></td><td><u>8</u></td><td><u>8</u></td></tr><tr><td>在籍者</td><td><u>746</u></td><td><u>746</u></td><td><u>743</u></td><td><u>748</u></td><td><u>748</u></td><td><u>750</u></td></tr></table>				4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	入会者	<u>20</u>	<u>12</u>	<u>15</u>	<u>15</u>	<u>10</u>	<u>12</u>	退会者	<u>15</u>	<u>10</u>	<u>10</u>	<u>11</u>	<u>10</u>	<u>8</u>	在籍者	<u>731</u>	<u>733</u>	<u>738</u>	<u>742</u>	<u>742</u>	<u>746</u>		10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	入会者	<u>10</u>	<u>8</u>	<u>12</u>	<u>10</u>	<u>18</u>	<u>10</u>	退会者	<u>10</u>	<u>8</u>	<u>15</u>	<u>15</u>	<u>8</u>	<u>8</u>	在籍者	<u>746</u>	<u>746</u>	<u>743</u>	<u>748</u>	<u>748</u>	<u>750</u>
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月																																																					
入会者	<u>20</u>	<u>12</u>	<u>15</u>	<u>15</u>	<u>10</u>	<u>12</u>																																																					
退会者	<u>15</u>	<u>10</u>	<u>10</u>	<u>11</u>	<u>10</u>	<u>8</u>																																																					
在籍者	<u>731</u>	<u>733</u>	<u>738</u>	<u>742</u>	<u>742</u>	<u>746</u>																																																					
	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月																																																					
入会者	<u>10</u>	<u>8</u>	<u>12</u>	<u>10</u>	<u>18</u>	<u>10</u>																																																					
退会者	<u>10</u>	<u>8</u>	<u>15</u>	<u>15</u>	<u>8</u>	<u>8</u>																																																					
在籍者	<u>746</u>	<u>746</u>	<u>743</u>	<u>748</u>	<u>748</u>	<u>750</u>																																																					
	③ <u>退会率減少</u>	会員管理の仕組みづくり ・担当制設置 ・会員管理のマニュアル化 ・会員情報の共有化 <u>朝礼、昼礼、暮礼の実施</u>	<u>退会率 2% 台</u> 以下項目の前年比 ・クラブ未利用者数 ・日次来館者数 ・体験、見学者数																																																								
		<u>パーソナル型プログラムサービス推進</u> ・ <u>姿勢改善・肩こり・腰痛、ひざ痛</u> ・ <u>フレイル予防</u> ・生活習慣病予防 ・ウエイトトレーニング ・ヨガ・ピラティス等 ・メディセル筋膜リリース	月次売上 40 万円 月次実施数 100 セッション ・スタッフ全員の実施 ・スタッフ研修の定期開催 毎月 1 回の集合研修																																																								
	④経費削減	業務担当制の強化、効率化 ・業務担当の再編、適材適所 ・業務棚卸、ムダな業務を削除 ・マネジメントサイクルの強化 <u>報告、連絡、相談の徹底</u> <u>ムダの見える化</u>	管理費の減少（前年比） ・人件費（シフト管理） ・消耗品、雑費 ・水道光熱費																																																								
2. <u>シニア層のサービス拡充</u>	①医療連携型メディカルフィットネス事業の推進	病院との連携強化 ・医師との連携 ・患者の紹介、処方箋の発行 ・運動実施後のフィードバック <u>教室企画、実施</u>	・ <u>連携システムの具現化</u> <u>立案、調整、試験運用まで</u> ・運動処方箋発行数 ・教室参加者数 各回 10 名目標																																																								
		運動＋ボディケアプログラムの推進 ・メディセル筋膜リリースの販売促進 セミナー、体験会 割引クーポンの発行	セミナー、体験会 ・実施回数、参加者数 割引クーポン利用者数 通常利用者数 10 名/月																																																								

		回数券販売によるリピート確保	回数券利用者数 2名/月
	②シニア向けプログラムの推進	シニア層の問題、課題解消に向けたイベント開催（非会員獲得目的） ① <u>メディセルセミナー</u> ・ <u>セミナー&教室</u> ・痛み改善 ・ダイエット、ストレス解消 ・体験イベント ・プログラムビジター体験 ・メディセル体験 ②期間&通年イベント ・会員同伴ビジター利用 ・セミナー&教室参加	各イベント非会員参加者 ・教室：定員の20%獲得 ・各セミナー：10名以上 ・各体験イベント：10名以上 ・ビジター利用：毎月3名以上
地域認知度向上及び健康増進の寄与	① <u>広告及び行政連携健康教室の開催</u>	オンライン広告 ①WEB告知 ・HP ・SNS告知 情報提供頻度の向上	<u>WEB告知</u> 情報提供頻度 SNS更新 HP更新：毎月見直し
		<u>津山市との連携による介護予防教室の開催</u>	教室の開催 ・参加者の効果測定 ・参加者からのクラブ及びスタッフ評価 ・参加者の会員転嫁者数、転嫁率

令和8年度事業計画

法人本部

目 次

1. 令和8年度事業計画

1. 法人本部 令和8年度事業計画

事業

行動計画／目標

1.	減免事業※生活困窮者への医療提供	・津山中央病院 ・津山中央記念病院 ・それぞれ全保険診療の10%以上	8-10年度
2.	奨学・育英事業	・奨学金の貸与、回収を実施	8-10年度
3.	新規事業の検討、実施	・老朽化した設備の更新工事 ・1F外来空調、照明 ・健診センター 発電機 外壁 ・3F～6F 病棟の改修工事 ・竣工した施設の有効活用 ※R7年度 6西、5東、6東、4東 竣工 ・旧病理検査室の跡地利用 ・竣工※R7した輸血CN、ME庫の有効活用 ・旧中央材料室の跡地利用 ・計画立案、着工 ・ペインクリニック ・構想立案※旧中央材料室の跡地利用と一連 ・クリニック閉院後の跡地利用 ・解体工事竣工※R7着工 ・駐車場整備工事 ・大型機筋の計画的な更新と導入 ・R8 放射線治療計画装置(2.0億) 医療機器委員会(1.5億) ・R9 DSA装置(2.0億)、CT(1.3億)の検討 医療機器委員会 ・R10 医療機器委員会 ・医療インバウンドの拡充 ・外国人の陽子線治療 件数拡充 ・国際医療支援センターの機能充実	8-10年度 8-10年度 10年度 8-9年度 8-9年度 8年度 8-10年度 8-10年度
4.	拠点病院事業・補助事業	※R5-7 R8 R9 R10	
	・拠点病院事業（運営費） ※救命cn、へき地拠点、周産期母子cn、小児救急拠点、がん拠点、感染病床、研修指定、救急・輪番（津山市）等	R5:1.34億円 1.33億円 R6:1.44億円 R7:1.38億円	8-10年度
	・拠点病院事業（設備整備事業）	R5:0.029億円 0.290億円 R6:0.034億円 検討 R7:0.024億円	8-10年度
	緊急支援・補正予算・その他	※R5-7 R8 R9 R10	
	・物価高騰支援金 ・賃上・物価上昇	R5:0.436億円 ※情報収集 R6:0.016億円 R7:2.45億円	8-10年度
	・生産性向上・職場環境整備等支援事 ・業務効率化・職場環境改善支援事業	R7:0.197億円 ---- ※検討	8-10年度 8-10年度
	・病床数適正化支援事業 ・施設整備促進支援事業	※不可 ※検討	8-10年度 8-10年度
	・周産期・小児医療施設支援事業	R5:0.073億円 ※検討	8-10年度

事業		行動計画／目標		
	・ 病床機能分化・連携促進のための 基盤整備事業	R6:0.016 億円	-----	8-10 年度
		R7:10.5 億円		
	・ 災害拠点病院（津山市）	R7:0.125 億円	※検討	8-10 年度
5.	コスト削減			
		・ 医薬品、医材のコスト削減の取り組み（薬事委員会、医材委員会、V H J 共同購入）		8-10 年度
		・ 物価高騰（食材、光熱費等）への対策（節約、支援金獲得）		8-10 年度
6.	職員確保			
	※「職員から選ばれる病院」のための 運営見直し	・ 福利厚生の見直し		8-10 年度
		・ 待遇見直し（定期昇給、ベースアップ）		8-10 年度
		・ 外国人看護師の採用、 <u>日本国家資格取得</u>		8-10 年度
		※ <u>R 7 年度 3 人採用</u>		
		・ <u>業務効率化・職場環境改善</u>		8-10 年度
		・ <u>看護師のユニフォーム変更（日勤帯、時間外 が分かるもの 30,000 千円）</u>		
		・ <u>書類作成の D X</u>		
		・ <u>整形外科手術計画ツールのデジタル化</u>		
		・ <u>錠剤分包の A I 監査</u>		
7.	機能向上			
	・ <u>病院機能評価更新（津山中央病院）</u>	・ R8 年度 <u>プロジェクトキックオフ</u>		8-10 年度
		・ R9 年度 <u>更新審査受診</u>		
	・			